

(協議事項(2)) 令和5年度生涯学習センター事業計画(案)について

(参考)

令和4年度生涯学習センター事業実施報告書

(令和5年2月15日現在)

目次

中央生涯学習センター	1
東生涯学習センター	3
西生涯学習センター	5
南生涯学習センター	7
北生涯学習センター	9
平石生涯学習センター	11
清原生涯学習センター	13
横川生涯学習センター	15
瑞穂野生涯学習センター	17
城山生涯学習センター	19
国本生涯学習センター	21
富屋生涯学習センター	23
豊郷生涯学習センター	25
篠井生涯学習センター	27
姿川生涯学習センター	29
雀宮生涯学習センター	31
上河内生涯学習センター	33
河内生涯学習センター	35

令和4年度 中央生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。</p> <p>(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、これからの社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学ぶ人」の支援を行う。</p> <p>(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会で支える人とのつながりを深め、家庭・地域の教育力の向上を図る。</p> <p>(ウ) ボランティアスタッフの活用など、学習成果や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。</p> <p>(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。</p>	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					令和4年度事業実績・評価・今後の方針									
	事業区分	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針						
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象	◎金曜まなび塾【CKP 2回】	地域住民相互の日常からの絆や助け合いを深め、地域の課題や取組みを共有する場に焦点を当て、子どもから高齢者まで誰もが豊かで便利に安心して過ごせるスマートシティの実現に向け、地域住民と一緒に学ぶ機会とする。	市内在住・在勤の一般成人	7～12月	10回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年7月6日～</p> <p>令和4年12月23日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>30人</td><td>20人</td><td>70代～</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	30人	20人	70代～	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>稼働率の高い601大ホールを使用しており、12時までに撤収が必要ことから、コロナ禍や会場設営等を考慮し、開講時間を90～100分程度に設定して開催した。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>当センター看板講座であり、毎年定員を超える募集がある。アンケートの結果からも講座への期待値が高いことから、宇都宮中心街にあるセンターの立地を生かした講座を運営していく。</p>
	合計	うち子ども	主な世代												
	30人	20人	70代～												
	地域連携特別講座		市民との連携・協力により行政が実施する事業や施策についての学びに加え、話題になっている事象など社会の変化に対応した情報を取り入れ、成人を対象に幅広い分野の学習機会を提供することを目的に開講する。	市内在住・在勤の一般成人	未定	1回	<p>【実施日】</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>人</td><td>人</td><td></td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	人	人		<p>【今年度の実施状況】</p> <p>3月に実施予定</p> <p>まちびあど連携し、中央生涯学習センター管轄の8地域が、一同にWEBを活用した、意見交換や各地域まちづくりの課題解決に役立つ講座を実施する。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>3月の実施を踏まえて決定する。</p>
	合計	うち子ども	主な世代												
	人	人													
	修道館アカデミー【Vスタッフ】		市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画立案から広報、実施までの講座運営を担う機会と場をVスタッフに提供し、生涯学習の推進とリーダー育成を図る。	市内在住・在勤の一般成人	6～7月	4回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年6月8日～</p> <p>令和4年7月6日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>22人</td><td>12人</td><td>70代～</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	22人	12人	70代～	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>全4回中、3回は中央生涯学習センター近隣の道路工事と重なり、換気・マイクの音量の問題から開催に難儀した。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>コロナ禍においても衰えぬ市民の旺盛な学習意欲に対し適切な学習機会を提供していく。Vスタッフが「縁」から「中八連」へと変わることから、新しく担当する「中八連」の新視点に期待する。また、今年度の実施状況(近隣の道路工事)を踏まえて、次年度は601大ホールでの開催を検討する。</p>
合計	うち子ども	主な世代													
22人	12人	70代～													
いきいきシニアアップ講座【Vスタッフ(一部)】【CKP 2回】		人生100年時代を迎え、豊かなシニアライフとするために「健康の喜び」「知識向上の喜び」「友とともに学ぶ喜び」を柱に据え、楽しみながら学び続ける学習機会を提供する。	市内在住の65歳以上の一般成人	1～2月	5回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年1月18日～</p> <p>令和5年2月22日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>人</td><td>人</td><td></td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	人	人		<p>【今年度の実施状況】</p> <p>2月に実施予定</p> <p>シニアライフを充実させるため、健康の知識や趣味を広げるきっかけ作りを医師や中央生涯学習センター登録団体を講師の迎えて実施した。今後は、Vスタッフ「ともしび」に一部講座企画を実施予定。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>2月の実施を踏まえて決定する。</p>	
合計	うち子ども	主な世代													
人	人														
名作・名画鑑賞会		郷土に関わる題材や社会の関心の高い課題を捉えた作品を発掘・上映することで、当センターを利用したことのない幅広い市民に足を運んでもらえるきっかけづくりとする。	市内在住者	未定	1回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年2月18日</p> <p>令和5年2月18日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>人</td><td>人</td><td></td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	人	人		<p>【今年度の実施状況】</p> <p>2月に実施予定</p> <p>「キャプテン」(ちばあきお原作)宇都宮をロケ地として映画化された少年野球の物語を上映する。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>2月の実施を踏まえて決定する。</p>	
合計	うち子ども	主な世代													
人	人														
スマホ基礎講座		市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	5・6月	2回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年5月24日～</p> <p>令和4年6月10日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>21人</td><td>11人</td><td>70代～</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	21人	11人	70代～	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>講師指定のスマートフォンでの講座であり、自分が使用しているスマートフォンではないため、参加者が集まらなかった。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>各地域でスマホ教室を実施しているため、市民のニーズに合った講座内容とするほか、参加者を募る手法を検討していく。</p>	
合計	うち子ども	主な世代													
21人	11人	70代～													
学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域活動団体などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	<p>令和4年度活動事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター内に設置している掲示板へ、各生涯学習センター講座のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、文化祭プログラムにおいて、情報を発信。 	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行っている。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、生涯学習センター内で各生涯学習センター講座のチラシや市民大学や人材かがやき講座ポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 今後も継続して、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、文化祭やマナビスなどでサークルの紹介情報を発信する。 							
② 学校・家庭・地域連携の推進・充実に資する事業の推進	子育て世代対象	子育て広場	子どもの感受性や運動能力を高め、乳幼児の健全な育成を図るとともに、参加者相互の交流による情報交換の場や気軽に子育て相談ができる場を提供する。	乳幼児(0～6歳)とその保護者	5～11月	5回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年5月18日～</p> <p>令和4年11月16日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>37人</td><td>26人</td><td>30代</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	37人	26人	30代	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>宇都宮ビジネス電子専門学校幼児保育ビジネス科との連携事業であるため、きめ細かなコミュニケーションをとり、講座を開催した。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>一定数のニーズがあったことや、孤立しがちな未就学児保護者のコミュニティの形成の一助となることから、今後も継続して開催する。</p>
合計	うち子ども	主な世代													
37人	26人	30代													

重点項目	事業区分					令和4年度事業実績・評価・今後の方針											
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績						評価			今後の方針		
推② 進家庭 教育支 援の充 実と学 校や地 域と連 携・協 力した 教育活 動の	◎ババもママもはくはく子育て	母親だけではなく、父親に参加してもらうことで、子育てに積極的にかかわるきっかけを作り、母親のストレスの軽減やリフレッシュできるような機会を提供する。	乳幼児(0～6歳)とその保護者	6～12月	2回	【実施日】 令和4年6月19日～ 令和4年12月4日 【受講決定者数】 合計 48人 うち子ども 30人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 宇都宮ビジネス電子専門学校						【今年度の実施状況】 プログラムに合わせた荷物の搬入、舞台装置、音響機材の設置等の準備を行ったが、大がかりなものもあるため、前日からの部屋の確保、準備などが必要である。			【次年度の方向性】 父親が参加することで、母親の育児ストレスの軽減やリフレッシュする機会を提供していくために、今後も継続して開催する。		
	親と子のワクワク体験講座	親と子がともに楽しく学び合う機会の提供を通じて、社会性や生活スキルの向上を図るとともに、参加者相互の交流を図る。	市内在住の小学生とその保護者	7～8月	5回	【実施日】 令和4年7月9日～ 令和4年8月20日 【受講決定者数】 合計 45人 うち子ども 30人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 宇都宮大学工学部						【今年度の実施状況】 館外学習は、感染対策のため宇都宮市のバスを使用せずに現地集合解散の形をとり、雨天時のプログラムも用意し当日に備えることが出来た。座学を1コマ企画したが、講義のみでは低学年は飽きてしまうので、作業を入れるなどの工夫が必要だったと感じた。			【次年度の方向性】 当センター唯一の小学生の親子向け講座であり、夏休み期間を利用した家庭教育の場や、普段家庭内ではできない体験を提供する必要があるため、継続して開催する。		
地域と学校が連携した教育活動の充実																	
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 魅力ある学校づくり地域協議会などのパンフレットの配架、チラシの配布						【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会などの地域団体のパンフレットやチラシを情報提供し、活動の周知を行った。			【次年度の方向性】 地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。		
③ 地域理 解を促 進する 講座と 学んだ 成果を 活動に つなげ る仕組 みの充 実	地域理解の促進																
	地域応援講座	地域の実情に沿った講座を地域コミュニティセンターで開催することで、地域住民が地域活動に関心を持つきっかけづくりとする。	各地域在住者	未定	16回	【実施日】 令和4年～月～日 令和4年～月～日 【受講決定者数】 合計 人 うち子ども 人 主な世代 人 【連携実績】 連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】						【今年度の実施状況】 2月に実施予定 中央生涯学習センター管轄する8地域が、地域のかかわりや人材発掘に役立つ講座を実施する。			【次年度の方向性】 2月の実施を踏まえて決定する。		
	★築瀬地域講座【CKP】	地域内の魅力的な資源の掘り起こしや、歴史についての学び、地域が抱える課題の気づきや解決をめざし、地域住民自らの学びの場として開催する。	地域在住の成人	未定	1回	【実施日】 令和4年9月16日～ 令和4年9月16日 【受講決定者数】 合計 37人 うち子ども 11人 主な世代 60代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 柳瀬地域まちづくり協議会、 築瀬地区連合自治会、 築瀬地区防災会等						【今年度の実施状況】 災害への知識習得により、災害に対する意識啓発や問題意識の醸成などを目指した。			【次年度の方向性】 災害に対する地域住民の一定の理解促進につながったため、今回の課題を基に地域の力で解決していく。		
	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳を迎える成人が地域の人とともに成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の一環として、二十歳を迎える成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度二十歳を迎える成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み			【今年度の実施状況】 会場が狭いので、地域内の会場開催を希望する意見が多かった。クラス記念写真1枚は、無料で提供できたらい。			【次年度の方向性】 感染拡大防止に努め、思い出の残る式典になるよう実施委員との連携を図る。		
	一条	28人	2回	受付をはじめ野外での記念撮影の移動時に、無線機を利用し、情報共有がスムーズであった。			地域団体等でいただいた協賛金で記念品を配布できた。										
	旭	29人	2回														
	陽北	27人	2回														
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実																	
中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色			【今年度の実施状況】 引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により開催の可否が問題となったが、一般の方の入場を制限し、事前に招待券を配布するなどの感染防止対策を図りながら、3年ぶりに有観客で実施した。			【次年度の方向性】 新型コロナウイルス感染症の取扱いが変更予定(2類→5類)であり、イベント等の集客定員や声出しの規制等も緩和されることから、新型コロナの感染状況を注視し、安心安全な文化祭を開催する。				
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳(件) 来館 15 電話 16 FAX 0 Eメール 0 その他 0 合計 31 簡易問い合わせ 8						【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。			【次年度の方向性】 登録団体の学習活動やマンピスの団体更新情報を積極的に周知し、活動の質や学習意欲の向上を図る。また、相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。			

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数
	講座数	実施回数			
成人対象事業	8	講座	29	回	110人
子育て世代対象事業	2	講座	7	回	85人
青少年対象事業	1	講座	5	回	45人
計	11	講座	41	回	240人

令和4年度 東生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針							
東部地区における生涯学習の拠点として地域住民の学習活動を支援するとともに、社会教育やまちづくりなどを通して、地域に学習成果を還元する。							
(ア) 複雑かつ多様化する社会環境や市民ニーズに対応するため、地域住民が生活課題の解決や学び楽しさを実感できるような魅力ある事業を展開する。							
(イ) 子育て世代を支援するため、学校や地域と連携しながら、親同士の交流機会の充実や、仲間づくりのネットワークが構築できるような事業を推進する。							
(ウ) 市民の学んだ成果を活動につなげるため、地域の各種団体やボランティア団体等と積極的に連携しながら、市民が地域で活動する機会や場の提供を行い、地域力の向上を目指す事業を推進する。							

★：令和4年度新規事業、 ◎：令和4年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針			
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象	ふれあい塾 (Vスタッフ企画運営講座)	様々な課題についてグループワークを行いながら考えるとともに、受講生同士の交流を深める。	市内在住・在勤の20歳以上の方	5～12月	9回	【実施日】 令和4年5月17日～ 令和4年12月20日 【受講決定者数】 合計 69人 うち子ども 0人 主な世代 不明 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 能・国際交流・宇都宮学など、幅広い分野の教養を身につける講座を開催したが、一部の講座では専門性が高く、理解しにくいとの声も聴かれたことから、受講生のレベルにあった内容となる様に講師との打合せを十分に行うなどの対応が必要である。	【次年度の方向性】 受講者のニーズを講座の企画に十分に反映できており、受講者の満足度も高いことから、継続して開催する。
	東雲塾	高齢者が年齢にふさわしい社会的能力を高め、明るく健康で充実した生活を送るため、知識・健康・レクリエーション等の学習を行う。	市内在住・在勤の65歳以上の方	6～1月	6回	【実施日】 令和4年6月3日～ 令和5年1月20日 【受講決定者数】 合計 37人 うち子ども 0人 主な世代 不明 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 形だけの交流ではなく、仲間づくりにも発展できる交流を組み込むため、開講式には顔合わせのための自己紹介を行い、講座の中では振り返りをグループ内で話し合うなど、6回を通じて交流する機会を数多く提供した。	【次年度の方向性】 高齢者が今日行く場所として、また新しい知識を習得する場所として、さらには交流の場所としてこの講座を強く望んでいることから、継続して開催する。	
	暮らしの達人養成講座 (ここから始める防災講座)	・昨今の災害頻度の多さから、自分自身を守る術や防災の知識を学ぶ。講座では、各自の現時点での防災の意識を再確認するところから始まり、初心者でも簡単に分かりやすく、すぐにも実行できる防災生活のあれこれを学んでいく。	市内在住・在勤の20歳以上の方	11月	2回	【実施日】 令和4年11月9日～ 令和4年11月26日 【受講決定者数】 合計 10人 うち子ども 0人 主な世代 不明 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 まちづくりセンター(まちびあ)	【今年度の実施状況】 計画当初は、広い意味で暮らしを考える講座を予定していたが、防災に関しては喫緊の課題であることから、前年度の防災講座を継続し、防災に特化して実施した。2年にわたり防災を取り上げたが、今後は、防災に特化した内容ではなく、広い視野で暮らしの課題について取り上げることを検討する。	【次年度の方向性】 さまざまな課題を広く取り上げるため、名称を「大人の教養講座」等に変更して内容の向上を図る。	
	子育て・働き世代の土曜講座	子育てや仕事で忙しい世代を対象に、現代の課題や自己実現に取り組み活躍している人を講師として講話やワークショップなどを行い、これからの生き方や働き方について一度立ち止まって考える機会を提供する。	市内在住・在勤の18～50歳くらいまでの方	1～2月	3回	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日 【受講決定者数】 合計 人 うち子ども 人 主な世代 【連携実績】 連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 2月に実施予定	【次年度の方向性】 2月の実施を踏まえて決定する。	
	初めてスマホ講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術を向上する。	市内に在住もしくは勤務している「スマートフォン初心者」	5月・6月	2回	【実施日】 令和4年5月27日～ 令和4年6月7日 【受講決定者数】 合計 19人 うち子ども 人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 効果的な教え方で、スマホの初心者には第一歩となる好機だったが、受講者のその後のフォローアップも考える必要があると感じた。	【次年度の方向性】 市民ニーズや講座を主導しているみんなでまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。	
	学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供している。	【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 継続して、生涯学習センター内に設置している掲示板でのチラシやポスターなどの学習情報の提供等を行っていく。
た② 家庭教育活動の充実と学校や地域と連携・協力	子育て世代対象	親子でDoing	様々な体験を通して、親子の絆を深める。地域人材の協力を得て地域教育力の向上を目指す。	市内在住の小学3、4年生とその保護者	6～8月	3回	【実施日】 令和4年7月2日～ 令和4年7月30日 【受講決定者数】 合計 19人 うち子ども 10人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 宇都宮大学UUIサイエンス実行委員会	【今年度の実施状況】 黄ブナ作りや科学体験に加え、初めてよさこいを取り入れ、内容を一新したが、予定していた募集人数に達しなかったため、近隣の小学校にチラシを配布するなどの対応が必要である。	【次年度の方向性】 地域の教育力の向上に繋げるため継続して開催する。
	すくすく子育て講座	季節の行事や体操・音楽鑑賞などを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、現代の子育てにおける課題を踏まえ、子育てについての知識や技術を学び、健やかな子育てができるよう支援する。また、参加者同士の交流をはかり仲間づくりを促す。	乳幼児・児童と保護者	5～12月	10回	【実施日】 令和4年5月12日～ 令和4年12月17日 【受講決定者数】 合計 81人 うち子ども 30人 主な世代 未就学児 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 前期(1～2歳児対象)は需要が高く、91組の応募があった。毎回欠席者が多くいるため、定員をもう少し多くしても良いと感じた。	【次年度の方向性】 親子のスキンシップや、親同士の交流など家庭教育を支援する講座であるため、継続とする。	

重点項目	事業区分		事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針								
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針				
② 家庭した教育支援の充実と学校や地域と連携	青少年対象														
	◎子ども国際理解サマースクール	外国人と身近に接し、異文化に触れることにより、外国に目を向けるきっかけや国際理解の推進を図る。参加型の活動を通して、「協力・相互理解」などの力を養う。	市内在住の小学4～6年生	8月	3回	【実施日】 令和4年8月2日 ～ 令和4年8月4日			【今年度の実施状況】 前年度の開催時に、内容が重複する部分があったことから、実施期間を増やし、アジア・アメリカ・アフリカの国をバランスよく取り入れ、ゆったりとした時間の中で学べるように設定したが、コロナ禍で制約を受けた中で開催となった。		【次年度の方向性】 当センターにとって恒例であり、認知度も増しているこの講座は、夏休みに集中して外国の人と触れ合い外国の言葉や習慣などを学び、自分の世界を広げる好機となることから、継続して開催する。				
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域と学校が連携した教育活動の充実														
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動を支援する。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 魅力ある学校づくり地域協議会などのパンフレットの配架、チラシの配布			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会などの地域団体のパンフレットやチラシを情報提供し、活動の周知を行った。		【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。				
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進														
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 ライトキューブ宇都宮はオープンして間もなかったことから、業者も業務に不慣れで難儀した。		【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。			
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実														
	東生涯学習センター文化祭	東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。	東生涯学習センター登録団体及び一般（地域住民）	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 期間中には、生涯学習登録団体の作品展示や活動紹介を行った。		【次年度の方向性】 少しずつできるものから取り組み、コロナ前の従来の文化祭に戻していく。				
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）							【今年度の実施状況】 展示パネルなどを利用し、登録団体を紹介したほか、相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。		【次年度の方向性】 年度にかかわらず、日頃から生涯学習全般に興味を持ってもらえるような工夫は必要と感じる。今後も様々なメディアを活用し、情報発信をしていく。
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	5	3	0

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数			受講決定者数
	講座数	実施回数		
成人対象事業	5	講座	18回	135人
子育て世代対象事業	2	講座	12回	100人
青少年対象事業	1	講座	3回	37人
計	8	講座	33回	272人

令和4年度 西生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

「令和4年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、生涯学習及び市民活動の拠点として、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、オンライン等の活用も含めた多様な学習機会の提供や、地域コミュニティの強化に向けて、まちづくり活動を支援するとともに、ボランティアなど地域で活動する団体と連携も図りながら、学んだ成果を地域に還元できる機会の提供に努める。

(ア) 「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座、「生活課題の解決」に資する講座を実施する。
 (イ) 地域の人々と子育て世代の親やその子どもたちとが交流する機会、次世代を担う青少年と子育て世代の親子が交流する機会、また子育て世代の親同士が交流する機会を充実させた「参加交流型講座」を学校や地域と連携を図りながら実施する。
 (ウ) 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用促進を図るため、地域の魅力を再認識し愛着を育む講座や、学んだ成果を活かし、地域活動や交流の促進につながる講座を実施する。

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針			
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象	◎シニア快活！元気講座【Vスタッフ】	Vスタッフが主体となつて、日本の食文化や伝統文化など受講者の関心が高いテーマを中心に講座企画を行う。また、地域ゆかりの「雨情文化」の紹介や、「ミニ門松」の創作活動など、地域の人材にも講師として協力を得ながら、受講者が有用な知識を深め交流を促進し、生きがいづくりにもつなげる学習の場とする。	50歳以上の方(市内在住・在勤)	5～12月	6回	【実施日】 令和4年5月31日～ 令和4年12月20日 【受講決定者数】 合計 19人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 3回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 Vスタッフ、栃木県立美術館、桜地区自治会連合会	【今年度の実施状況】 中止の懸念のあるテーマを避けて企画した。また、転倒防止等、高齢の参加者に配慮し、座ったままでも参加できるヨガを企画するなど、参加者それぞれの体調や状況でも楽しめる工夫を行った。	【次年度の方向性】 Vスタッフとの連携をとりながら、可能な範囲で体験型の講座を開催していく。
	西楽アカデミー	健康など現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや創作活動を通して受講者同士のつながりが深まるようコミュニケーション活動を取り入れる。	一般成人	5～11月	8回	【実施日】 令和4年5月19日～ 令和4年11月24日 【受講決定者数】 合計 20人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 馬事公苑	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症が継続する中でも開催できるよう、飲食を伴うものは避け、馬術競技や競走馬のセカンドライフなど、様々なテーマを開催した。また、パーソナルカラー診断やクリスマスツリーの製作体験などでは、参加者同士の接触がないように企画・運営を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、可能な範囲で参加体験型の内容を織り交ぜ、魅力的な講座を継続して開催する。	
	◎宇都宮再発見！	日本遺産である「大谷石文化」に着目し、大谷の歴史や建築をはじめ、地下空間の活用等を学びながら、宇都宮の魅力を再発見する。	一般成人	6～10月	4回	【実施日】 令和4年5月27日～ 令和4年10月28日 【受講決定者数】 合計 17人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 大谷石文化について、講義形式を主として開催した。時間が2時間と長く、参加者の集中力を維持することが難儀であるため、ワークショップや体験活動を取り入れることを検討する。	【次年度の方向性】 人気の講座であることから、次年度も継続して開催する。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住・通勤の18歳以上の方	7・8月	2回	【実施日】 令和4年7月7日～ 令和4年8月2日 【受講決定者数】 合計 25人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 株式会社 ソフトバンク	【今年度の実施状況】 複数の講師(アドバイザー)の充実したサポート体制により、参加者が基本操作を学ぶことができた。	【次年度の方向性】 市民ニーズや講座を主導しているみんながまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。	
	学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動の啓発や支援を行い、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、本市の生涯学習関連情報を広く市民に提供していく。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、チラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体に、主催講座の講師等を依頼し、活動成果の発表の場を提供。	【今年度の実施状況】 ・生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。 ・生涯学習サークル団体に、活動成果の発表の場を提供した。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内にチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続して、主催講座の講師等を依頼し、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場を提供する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう支援する。また、子育ての知識・技術を身につけ、家庭の教育力の向上を図る。センター利用団体に講師として協力を得ることにより、様々な活動に参加する機会の提供や世代間の交流を図っていく。	1歳～3歳の乳幼児とその親	5～11月	6回	【実施日】 令和4年5月18日～ 令和4年11月9日 【受講決定者数】 合計 28人 うち子ども 14人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 2回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 生涯学習登録団体、明保地区明るいまちづくり協議会	【今年度の実施状況】 親子のふれあいを目的に、リトミックやフィットネスなどのレクリエーションや工作などを実施した。保護者向けの講話は、子ども連れて集中できない心配のためか参加率が低かったため、感染症が収まったら託児を検討していく。	【次年度の方向性】 コロナ感染対策を行いながら、親子・親同士のコミュニケーションをとれるようにすると共に子育て相談の支援を行う。
	親子トライ&ゴー	市内大学等と連携を図り、工作など様々なアクティビティを行う中で、親子の絆を深めながら、生活に役立つ知識や体験を共有することにより、家庭の総合的な教育力の向上を図る。	小学校1年生～3年生とその保護者(市内在住・通学)	6～10月	5回	【実施日】 令和4年6月18日～ 令和4年10月8日 【受講決定者数】 合計 24人 うち子ども 12人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 2回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 宇都宮大学工学部・国際交流協会	【今年度の実施状況】 工作や科学体験など、親子の絆を深めながら生活に役立つ体験活動を企画・運営した。	【次年度の方向性】 親子での参加体験講座として高い要望があるため、来年度も方向性はそのままにコロナ禍で限定された条件でも充実した講座を継続して開催する。	
	青少年対象	わくわくサマースクール	夏休みを利用して様々な体験学習を行い、好奇心や想像力、思考力を培う。また他校の仲間との交流を深めると共に、栃木県立博物館等近隣施設を活かした館外学習や、民間企業と連携した理科学系の体験講座等、子どもの自発的な学びの場を提供する。	市内の小学校に在学している小学4～6年生	7～8月	5回	【実施日】 令和4年7月25日～ 令和4年8月8日 【受講決定者数】 合計 19人 うち子ども 19人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 土偶づくりやプログラミングなど、夏休みを利用した体験学習や他校生との交流を実施した。プログラミングの講座では日にちで参加人数に偏りが出てしまったことや、食育の講座では飲食なしのため、目の前にお菓子があるのに捨てることになったことから、企画段階で検討が必要である。	【次年度の方向性】 人気の講座であるため、募集人数を20名から30名に増加し、継続して開催する。

重点項目	事業区分	事業の概要					令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
連②携家・庭協教力した支援の充実と学校推進や地域と	★わくわくZoom!	冬休みを利用して、家庭でも気軽にできる理科学系のZoomによるオンライン講座を実施する。	市内の小学校に在学している小学4～6年生	12月	1回	【実施日】			【今年度の実施状況】		【次年度の方向性】		
						令和4年12月26日	令和4年12月26日	令和4年12月26日	・オンラインで開催したが、年末の慌ただしい時期であったことから、参加者が思ったほど集まらなかった。	希望者があまり集まらないことから、周知方法を工夫する。具体的には、実施時期を夏休みとし、わくわくサマースクールとの同時募集とすることで、参加者の増加を目指す。			
						【受講決定者数】							
						合計	うち子ども	主な世代					
						5人	5人	小学生					
						【連携実績】							
						連携実績数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】						
						0回							
地域と学校が連携した教育活動の充実													
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例			【今年度の実施状況】		【次年度の方向性】		
						・あいさつ標語の募集・選定、クリーン活動への協力・支援を行った。			魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。		引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進												
	地域コミュニティの促進【CKP】	地域のニーズに沿った課題解決や地域住民のコミュニティの促進を図る。	富士見地域住民	7月	1回	【実施日】			【今年度の実施状況】		【次年度の方向性】		
							令和4年7月	令和4年7月	令和4年7月	前年同様、コロナ感染拡大のため中止となった。次年度以降、引き続き開催する際には、地域と調整し講座を企画していく必要がある。		地域現状を理解することで、地域との交流を深め、まちづくりへの参加のきっかけや、活動の促進となることから、継続して開催する。	
							合計	うち子ども	主な世代				
						人	人						
						【連携実績】							
						連携実績数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】						
						1回	桜地域まちづくり協議会						
	わがまち桜から見る宇都宮の歴史【CKP】	宇都宮の歴史のなかで、自分たちの住むまちがどのような役割を果たし、どのように変容してきたかを知ることにより、地域への理解を一層深め、愛着心を高めることで、まちづくりのさらなる推進を図る。	桜地域住民	9月～11月	4回	【実施日】			【今年度の課題】		【次年度の方向性】		
						令和4年9月9日	令和4年11月25日	令和4年11月25日	今年度は少数であるが50代の方の参加があった。今後とも幅広い年代層への参加を促していく。		参加者の満足度が毎回高く、地域の歴史を振り返りながら地域づくりに対する意識の醸成を図る点において大変効果的であるため、継続して開催する。		
						合計	うち子ども	主な世代					
						18人	0人	70代～					
						【連携実績】							
						連携実績数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】						
						1回	桜地域まちづくり協議会						
	★防災まちカフェ(防災ママカフェ)【CKP】	災害直後の避難者や支援者(地域自主防災会)の状況や対応の仕方を知ることにより、明保地区の防災に関する課題を把握し、解決に向けて検討する機会とする。	明保地域住民	7月	1回	【実施日】			【今年度の実施状況】		【次年度の方向性】		
						令和4年7月21日	令和4年7月21日	令和4年7月21日	すくすく子育て講座と共催で避難所運営や災害に対する備えなどの、防災に関する講座を開催したが、コロナ感染が拡大したことで、子育て親子世代の参加者が少なかった。座学での講座の際には託児等の対応をとり、参加しやすい環境を整える必要がある。		地域の問題点を情報収集し、活動者とともに、課題解決に沿った講座を開催することにより、今後のまちづくり活動に対し、意識の向上を図る。		
						合計	うち子ども	主な世代					
						25人	2人	70代～					
						【連携実績】							
						連携実績数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】						
						1回	明保地区明るいまちづくり協議会						
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを育てるようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	委員会実施回数	各地域の取り組み		【今年度の実施状況】		
						宮の原	26人	1回	成人(二十歳)が自分たちの意思で地域交流事業を企画決定し、地域の実施委員とともに運営した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、懇談会及び地域の特性を活かした事業はしなかった。		会場が新しい場所になり、円滑な運営を行うため、実施委員や会場等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。		
						陽西	35人	1回	成人(二十歳)が自分たちで成人のつどいを作り上げるという意識をもち、地域交流事業を企画し、地域の実施委員とともに運営した。		引き続き、実施委員等と調整や連携を図り、円滑かつ効果的な成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。		
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実													
	西生涯学習センター文化祭	西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数		特色		【今年度の実施状況】		
						18団体	-		・コロナ感染対策で、来場者を分散させるため、作品展示やビデオ上映を長期間行った。		【次年度の方向性】		
										今後も継続して、サークルの発表の場を提供するとともに、コロナ感染対策を行いながら、地域と協力し、事業を企画する。			
	クールシェア・コンサート	近隣地区の住民を対象に、夏季に公共施設で涼しさを分け合いながら、西生涯学習センター利用団体による演奏会を開催する。演奏会を通して、利用団体には、成果発表の場を提供していくとともに、より多くの地域住民にも生涯学習への関心を持ってもらう機会とする。	主に桜・富士見・明保地区内の市民	7月	1回	【実施日】			【今年度の実施状況】		【次年度の方向性】		
						令和4年7月2日	令和4年7月2日	令和4年7月2日	チェロコンサートを実施した。とてもいい企画であったため、次年度も実施する方向で検討しているが、参加者が20名ももたないことから、感染状況を踏まえた参加者数を設定していく。		参加者に好評で、来年度の開催を希望する声が多く聞かれたことから、継続して開催する。		
						合計	うち子ども	主な世代					
						21人	3人	不明					
						【連携実績】							
						連携実績数	【連携団体等名称(企業・学校含む)】						
						0回							
	学習相談	相談者のニーズに応じて具体的な学習活動へつなげるとともに、相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援などを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績内訳(：件)							
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
						21	10	0	0	0	31	0	
										相談者のニーズに応じて速やかに情報提供を行い、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。		【次年度の方向性】	
										相談者のニーズに応じて具体的な学習活動を紹介します。相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行うとともに、気軽に学習相談をし易い環境整備に努める。			

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数		受講決定者数
	講座数	実施回数	
成人対象事業	8講座	26回	145人
子育て世代対象事業	2講座	11回	52人
青少年対象事業	2講座	7回	24人
計	12講座	44回	221人

令和4年度 南生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>「令和4年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、地域住民の生涯学習ニーズや地域及び全市民的な課題に応じた学習支援をするとともに、地域の学習情報拠点として地域団体等と連携し情報の発信や地域で活躍できる人材の育成を図る。</p> <p>(ア) 地域の特性や課題及び社会的に関心の高い課題に応じた学習支援を行い、積極的に地域まちづくり活動に参加する人材の育成に取り組む。</p> <p>(イ) 増加する高齢者の健康を保ち生きがい創出につながる講座や、子育て世代の不安を解消し、親子双方の成長を促す講座、豊かで実りある生活設計のための講座など、幅広い世代を対象に多様な学習の提供を図る。</p> <p>(ウ) 地域でのボランティア活動や、地域のまちづくり活動を支援し、学習の成果や経験を活かせる機会と場の提供などに努める。</p>	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針									
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針						
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象	暮らし彩り講座～セカンドライフに向けて～	人生100年時代、セカンドライフ充実に向けて、プレシニア世代の衣・食・住の暮らしを彩るアイデアを学ぶ。	市内在住、通勤の成人	6月	3回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年6月9日 ～ 令和4年6月30日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>16人</td><td>0人</td><td>50代</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社</p>	合計	うち子ども	主な世代	16人	0人	50代	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>老後のマネー・スクラップブックなど、プレシニア世代に限らず、シニア世代にも参加しやすい講座の内容を企画したが、プレシニア世代が参加しやすい曜日の設定をする必要がある。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>「暮らし彩り講座」の内容に沿った、衣食住から幅を広げた内容の講座を継続して開催する。</p>
	合計	うち子ども	主な世代												
	16人	0人	50代												
	◎シニアセミナー南悠塾	シニア世代の受講者が、学びを通して交流を図り教養を深めることで、充実した日々を送る手助けをする。	市内在住、通勤の60歳以上の方	6～12月	6回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年6月10日 ～ 令和4年11月11日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>50人</td><td>0人</td><td>70代～</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	50人	0人	70代～	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>講座内容や講師で、参加人数が大きく異なった。受講者が興味がある回を選んで参加している印象がある。繰り返し感染拡大を踏まえ、リスク回避を考慮する必要がある。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>シニア世代の学ぶ意欲があり、受講することで充実した日々を送る手助けとなる講座を企画し、継続して開催する。</p>	
	合計	うち子ども	主な世代												
	50人	0人	70代～												
★健康ウォーキング講座	健康寿命・平均寿命について考え、健康づくりのきっかけとなるようなウォーキングに関する知識を学ぶ。	市内在住、通勤の成人	5月	2回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年5月12日 ～ 令和4年5月26日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>17人</td><td>0人</td><td>60代</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	17人	0人	60代	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>イキイキ歩くための上手な靴の選び方を学ぶ講座の中で、個人のニーズ(自分の靴のサイズを知る)を叶える時間の確保が必要である。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>健康を考えるきっかけ作りになったことから、実践していける内容を企画・検討し、継続して開催する。</p>		
合計	うち子ども	主な世代													
17人	0人	60代													
★宇都宮再発見～映画・ドラマのロケ地となった場所を見てみよう～	宇都宮市内で、映画・ドラマのロケ地となった場所を映像で紹介しながら、宇都宮の街の良さを再発見する。	市内在住、通勤の成人	7月	2回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年7月7日 ～ 令和4年7月14日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>33人</td><td>0人</td><td>不明</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	33人	0人	不明	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>新規開催のため、開催時間と内容量のバランスがわからず、説明・紹介しきれなかった内容が生じたことから、講座内容に沿った時間配分等の検討が必要である。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>受講生に好評だったことから、今年度紹介しきれなかった内容を含め、大谷地区を中心に企画し、継続して開催する。</p>		
合計	うち子ども	主な世代													
33人	0人	不明													
スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	7月	2回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年7月1日 ～ 令和4年7月15日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>23人</td><td>0人</td><td>70代～</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	23人	0人	70代～	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>複数の講師(アドバイザー)の充実したサポート体制により、参加者が基本操作を学ぶことができた。みんなでまちづくり課が一括して、講師との打合せを行い、講義の詳細な内容を事前に把握することができなかったことから、事前の情報共有が必要である。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>市民ニーズや講座を主導しているみんながまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。</p>		
合計	うち子ども	主な世代													
23人	0人	70代～													
学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	<p>令和4年度活動事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して生涯学習センター内の掲示板に以下の紙面等を掲示し情報を提供した <ul style="list-style-type: none"> 市や県及びそれらの関連団体が主催、後援する生涯学習に関するポスターやチラシ センター主催講座毎に作成した講座の概要や受講者の感想等を記載した紙面 各生涯学習団体が作成した活動等に関する情報紙 主催講座パンフレットの所管4地区コミセンへの配布と地域への回覧 文化祭において一定期間、生涯学習団体の活動内容や成果を紙面にて発表 	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>生涯学習に関する講座やイベント、登録団体等の情報提供のほかに、主催講座受講の感想や効果、生涯学習団体の活動成果等について情報を提供</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、市や県等が主催、後援する生涯学習に関するポスター及び講座等のチラシを館内に掲示して情報を提供する。 主催講座について、パンフレットの配布や地域への回覧のほか、受講者の感想や効果について所内掲示により情報を提供する。 生涯学習団体について、活動の成果を含めたPRの場を継続して提供する。 							
② 家庭教育活動の充実と学校や地域と連携・協力	子育て世代対象	すくすく子育て(前期)	親子が楽しみながら触れ合い、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら交流を図る。	市内在住の首すわり～1歳前後の幼児とその保護者	5～7月	4回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年5月11日 ～ 令和4年7月13日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>30人</td><td>15人</td><td>30代</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	30人	15人	30代	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>ピアノを使ったスキンシップやヨガなどのレクリエーションを開催したが、乳幼児の対象年齢が4か月程度から1歳前後のため、実施会場は和室が望ましい。ピアノが必要な場合キーボードを持参していただく等工夫が必要である。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>受講申込が多く、孤独になりがちな子育て支援の観点から楽しく気分転換ができる内容の講座を継続して開催する。</p>
	合計	うち子ども	主な世代												
30人	15人	30代													
すくすく子育て(後期)	親子で遊びや運動をすることでふれあいを深め、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら孤立しがちな子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。	市内在住の2～3歳の子どもの保護者	9～12月	4回	<p>【実施日】</p> <p>令和4年9月14日 ～ 令和4年12月7日</p> <p>【受講決定者数】</p> <table border="1"> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>20人</td><td>10人</td><td>30代</td></tr> </table> <p>【連携実績】</p> <p>連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】</p>	合計	うち子ども	主な世代	20人	10人	30代	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>さんすうリトミックや読み聞かせなど、コロナが収束しない状況ではあったが感染拡大防止に配慮し中止することなくすべての講座を終えることができた。前期講座と比較して申込人数が少ないことから、多くの応募をいただけるよう講座企画において工夫が必要である。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>講座に参加することにより子育ての悩みを分かち合い、また楽しみながら子どもと触れ合う機会となるため、継続して開催する。</p>		
合計	うち子ども	主な世代													
20人	10人	30代													

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針	
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	青少年対象											
	親子で学ぶ読書感想文の書き方講座	夏休みの読書感想文の書き方を親子で学ぶことにより、親子で一緒に読書の楽しさを学び、本に親しむ心を育む。	市内在住の小学4～6年生の児童とその保護者	8月	2回	【実施日】 令和4年8月3日 ～ 令和4年8月10日			【今年度の実施状況】 書く時間・講師による添削の時間を考慮し、2回開催したが、夏休みの宿題に読書感想文を選択する児童が少ないことから、申込者が例年より少なかった。	【次年度の方向性】 読書感想文の書き方でなく、作文の書き方に戻して企画する。		
	プログラミング入門講座	2020年度から小学校で必修科目となったプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学生	7月	2回	【実施日】 令和4年7月28日 ～ 令和4年7月29日			【今年度の実施状況】 プログラミングの基礎を楽しみながら学び、自分で作ったロボットを動かす講座を実施した。申し込み期間を考慮し、事務手続きの煩雑さを減らすことが必要である。	【次年度の方向性】 受講生に人気のある講座であることから、プログラミングの内容を変えて継続して開催する。		
	キッズアンガーマネジメント講座	子どもたちが感じているイライラやモヤモヤを自分で上手に解消する方法を学び、他とのコミュニケーションを築く方法を学ぶ。	市内在住の小学4～6年生の児童	8月	1回	【実施日】 令和4年8月4日 ～ 令和4年8月4日			【今年度の実施状況】 「参加アンガーマネジメント×怒らない体操」をテーマに開催したが、募集定員20人のところ、実際の参加者は9人であったことから、参加者の人数を増やす必要がある。	【次年度の方向性】 3年連続で講座を実施し、「キッズアンガーマネジメント」が少しは浸透したように思えることから、親子で学ぶ「キッズアンガー」に近いものを企画・検討する。		
	夏休み小学生講座	小学4～6年生の児童が、他の学区の児童と親睦を深めながら実験や工作などを通して夏休みの自由研究などの一助とする	市内在住の小学4～6年生の児童	7～8月	3回	【実施日】 令和4年7月27日 ～ 令和4年8月5日			【今年度の実施状況】 ウインドカーの作成など、夏休みの自由研究に役立つ工作や実験を実施し、学区の違う児童同士の交流も深まったが、「自由研究のための講座」という目的を前面に出すような講座名とすか検討する。	【次年度の方向性】 他の学区の児童と楽しく交流しながら夏休みの自由研究や宿題に役立つため、継続して開催する。		
	地域と学校が連携した教育活動の充実											
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・陽南中学校魅力ある学校づくり地域協議会会議に2回出席した。			【今年度の実施状況】 地域協議会会議に出席し、情報交換を行った。	【次年度の方向性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進											
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域住民とともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 新会場における円滑な式典の実施及び新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した。 ・会場管理者との事前打合せ、実施委員の役割分担や配置の見直し、JiJiの活用を行った。	【次年度の方向性】 事前準備を含め円滑で効率的な成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を運営する。	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実											
	南生涯学習センター文化祭	地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。	南生涯学習センター利用団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 感染リスクを最小限とした実施方法等により文化祭を開催した。今後は、より多くの団体が参加できる方法を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 新型コロナウイルス感染状況を踏まえた実施方法とし、多くの団体が参加できる文化祭を開催する。		
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 ・相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。 ・休休みに学習相談があった場合、時間的にマンパシが画面展開せず、他センターの登録団体の状況が確認できずに相談が滞ることから、対応の検討が必要である。	【次年度の方向性】 今後も丁寧な学習相談を行うとともに、学習相談の参考となる登録団体が作成した団体紹介紙の館内掲示を継続する。		
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ
						18	18	0	0	0	36	15

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数			受講決定者数
	講座数	実施回数		
成人対象事業	5	講座 14	回	139
子育て世代対象事業	2	講座 8	回	50
青少年対象事業	4	講座 8	回	72
計	11	講座 30	回	261

令和4年度 北生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>地域に居住する一人ひとりが生きがいが高められ、充実した日々を過ごすことができるよう、継続的に学んでいくための機会を提供するとともに、今後とも地域の活力が持続されるよう、子育て、環境、まちづくりに関する人材育成など地域が持つ課題に対応した事業を実施する。</p> <p>(ア) 現代社会に適応できる知識の習得と社会への参画や人との交流を促していく講座を開催するとともに、感受性や受容性など情緒を養うといった人間力を高められる講座を実施する。 (イ) 子育て中の親が人づくりの基本となる愛しみや思いやりなどを高められる講座を実施するとともに、子どもたちがコミュニケーション力や知的探究心や創造する力を高め、問題解決を図ることを学ぶ体験活動等を行う。 (ウ) 地域を構成する自然、歴史、まち並みなどの成り立ちを学習する講座を行い、地域への愛着を深めるとともに、住みやすい、より良い地域としていくための発展的課題を気づかせる講座を行う。</p>	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針			
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象	北洲塾【Vスタッフ(一部)】	生きがいづくりを目的に幅広い分野を身に着け、地域社会への参加の輪を広める。 ※【うち2回をVスタッフ企画講座として実施】	市内在住・通勤の65歳以上の方	6～12月	6回	【実施日】 令和4年6月15日 令和4年12月21日 【受講決定者数】 合計 25人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 コロナの感染拡大防止のため、受講者間のソーシャルディスタンスを取ることを優先し開催したことから、受講者間の交流まで図ることができなかった。	【次年度の方向性】 高齢者が学びを通して受講者間交流を図る重要な事業であるとともに、ニーズの高い講座であるため、継続して開催する。
		聴いて読む名作	プロのアナウンサーに朗読してもらおうことで文学作品をより深く味わうとともに、講師の指導のもとで自ら朗読を体験する。	一般成人	10月	2回	【実施日】 令和4年10月13日 令和4年10月20日 【受講決定者数】 合計 30人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 講師の読みたい作品と受講者の聞きたい作品をすり合わせに難儀した。	【次年度の方向性】 プロの朗読を生で聴ける貴重な体験を提供し、コミュニケーションのための「聴く」「伝える」力を身につけることができる講座として今後も継続して開催する。
		和文化入門講座	1 楽しく日本文化の粋に触れる。 2 国際化の流れの中で自国の文化を知り、和の心をもったコミュニケーション能力を養う。	一般成人	11～12月	5回	【実施日】 令和4年11月15日 令和4年12月22日 【受講決定者数】 合計 15人 うち子ども 0人 主な世代 60代 【連携実績】 連携実績数 2回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 忘筵会、フラワーデザインあやかクラブ	【今年度の実施状況】 漆塗り・和菓子作り・茶道・能・華道など、日本文化の粋を知ることができる講座を実施したが、リピーターが多くなっており、新規の参加者を呼び込むために講座内容の見直しが必要である。	【次年度の方向性】 日本文化に触れる機会を提供することにより、日本文化の持つ奥深さなどを再認識してもらう講座であるため、継続して開催する。
		◎防災講座	地震や台風・大雨など、災害への備えを学ぶ。「日々の備え」から、家族の防災力を高めるためのポイントなど	一般成人	6月	3回	【実施日】 令和4年6月10日 令和4年6月24日 【受講決定者数】 合計 29人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 明治安田生命保険相互会社	【今年度の実施状況】 昨年度同様、地域の自主防災組織関係者が受講者の大半となった。	【次年度の方向性】 講座の内容、対象者などを検討しながら、継続して開催する。
		スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	7・8月	2回	【実施日】 令和4年7月14日 令和4年8月18日 【受講決定者数】 合計 20人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 株式会社 ソフトバンク	【今年度の実施状況】 複数の講師(アドバイザー)の充実したサポート体制により、参加者が基本操作を学ぶことができた。自治会の回覧を主に受講希望者を集めたため、自治会により、講座の周知に時間差が生じたことから、調整が必要である。	【次年度の方向性】 定員を超える応募があったため、継続して開催する。
		生涯学習サークル活動を体験しよう	利用団体連絡協議会と協力して生涯学習団体(サークル)の活動体験の場を提供することにより、生涯学習活動団体の活性化を支援する。受講者に対しては、自己実現のための学習機会を提供する。当初の事業計画では予定していなかったが、実施した。	市内に在住かつ在勤している人	2月	10回	【実施日】 令和5年2月10日 令和5年2月24日 【受講決定者数】 合計 人 うち子ども 人 主な世代 人 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 北生涯学習センター利用団体連絡協議会	【今年度の実施状況】 2月に実施予定	【今年度の実施状況】 2月の実施を踏まえて決定する。
	学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、そうした情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、生涯学習推進団体や事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、文化祭での出品作品や日頃の活動状況をDVDにまとめ、ロビーで放映した。	【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内で生涯学習推進団体や事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続的に、生涯学習サークル団体の活動成果を発表する場の確保を支援していく。
② 学校や家庭や地域教育活動と連携の推進・充実と	子育て世代対象	子育てパパ・ママ応援講座	乳幼児期に育てたいこと(発達課題と生活経験)、親としての心得(自我が芽生えた子どもへの接し方)を学ぶ。	未就学児を持つ親	6月	3回	【実施日】 令和4年6月4日 令和4年6月25日 【受講決定者数】 合計 24人 うち子ども 0人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 オンラインによる自宅学習で、おうち性教育などのテーマを実施したが、Zoomについては、講師が毎回違うことから、講座の進行に差が出てしまったため、調整が必要である。	【次年度の方向性】 子育て世代に必要な学びの提供を通じた子育て支援に継続的に取り組むことが重要であることから、継続して開催する。

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針								
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針			
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	◎子育て家族のポジティブコミュニケーション講座	1 乳幼児期に育てたいこと(発達課題と生活経験)、親としての心得(自我が芽生えた子どもへの接し方)を学ぶ。 2 自己肯定感を高め、相手も自分も大切にしたいポジティブコミュニケーションの方法を学ぶ。 3 ベビーシッター養成講座修了生の活用を図る。	乳幼児から小学生までの保護者	7月	2回	【実施日】			【今年度の実施状況】 新型コロナの感染状況に対応できるよう、集合型でもZoom開催でも対応できるように準備し、状況を見極めて、1週間前に集合型で実施することを決定した。今年度は託児の人数が少なかったため対応できたが、人数が増えると、現状の託児ボランティアの体制で感染対策をしながらの託児は厳しいことから、検討が必要である。	【次年度の方向性】 子育て世代に必要な学びの提供を通じた子育て支援に継続的に取り組むことが重要であることから、継続して開催する。				
						令和4年7月4日	令和4年7月11日	合計			うち子ども	主な世代		
						20人	0人	40代						
	親子でチャレンジ	親子と一緒に様々な体験活動(伝統工芸品作り、杉板焼きなど)を行い、互いを認め合い尊重し合いながら親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。	小学1年生から4年生とその保護者	7~8月	4回	【実施日】			【今年度の実施状況】 家族単位で伝統工芸体験や調理を行い、特に調理に関しては、調理した料理をその場で食べるのではなく、弁当として持ち帰ってもらった。	【次年度の方向性】 参加希望の親子が多いため、来年度以降も内容を考慮しながら、継続して開催する。				
						令和4年7月23日	令和4年8月20日	合計			うち子ども	主な世代		
						31人	13人	小学生						
	◎親子自然探検隊	地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、地域の保全グループと交流しながら自然に親しむことを通じて、生物多様性の大切さを知り、守ることの意義を知る機会とする。	小学生以下の子どもとその保護者	5~1月	6回	【実施日】			【今年度の実施状況】 募集が12組であったが、当日体調不良などで、欠席者が多く10組以下になることがあった。	【次年度の方向性】 参加希望の親子が多いため、来年度以降も同様の内容で、継続して開催する。				
						令和4年5月21日	令和5年1月21日	合計			うち子ども	主な世代		
						33人	17人	40代						
	親子料理教室	親子と一緒に地元の食材を使ってお正月料理の「おせち料理」を作ることにより、親子の絆を深めるとともに、その活動を通して参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。当初の事業計画では予定していなかったが、実施した。	小学1年生から4年生とその保護者	12月	1回	【実施日】			【今年度の実施状況】 調理の指導が良く、子どもたちも手際が良かったため、時間的な余裕ができた。	【次年度の方向性】 宇都宮文星短期大学の会場確保が困難となり、ある程度人数が入れる調理室や、助手の確保も難しいため、廃止する。				
令和4年12月17日						令和4年12月17日	合計	うち子ども			主な世代			
22人						11人	40代							
青少年対象														
青少年リーダー養成講座	日常生活では経験できない、地域や企業などの取組を見て、聞いて、体験することにより、社会や生活の成り立ちなどを学習する。また、同学年や別学年の児童がともに学ぶことを通じて、物事に積極的に取り組むことのできるリーダーの資質を磨く機会とする。	細谷・上戸祭地区の小学校5~6年生	7月	1回	【実施日】			【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症が拡大したため、感染拡大防止のため連携団体からの申し出もあり中止	【次年度の方向性】 北生涯学習センター管内3地区の青少年育成会と連携しながら、3地区を交代で実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3年連続で中止。バス移動のリスクにより中止となっているため、他手法を検討する。					
					令和4年~	令和4年~	合計			うち子ども	主な世代			
					人	人								
昔あそび体験講座	ボランティアによる昔遊び体験を通じ、普段体験する機会の少ない遊びへの挑戦や子ども同士、ボランティア等とのふれあいを深める。	小学生とその家族	7月	1回	【実施日】			【今年度の実施状況】 隣の公園を使って屋外での遊びを計画していたが、天候等の関係で室内のみの実施となった。	【次年度の方向性】 子どもたちの参加人数としてはスムーズに運営できる人数であり、今後は、屋外での遊びも取り入れたい。					
					令和4年7月28日	令和4年7月28日	合計			うち子ども	主な世代			
					20人	11人	小学生							
地域と学校が連携した教育活動の充実														
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例			【今年度の実施状況】 地域協議会会議に出席し、情報交換を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、支援していく。					
					・協議会委員として、会議に出席し活動を支援した。									
実③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進													
	二十歳を祝う成人のつどい	成人(二十歳)が地域の人とともに成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区	実施委員数	委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員と連携を密にし、円滑に式典を運営した。	【次年度の方向性】 今後も、成人(二十歳)が地域の人とともに、地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを持つよう、地域へつながる場として意義のある事業として開催する。			
						星が丘	25人	1回				新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮しながら、成人(二十歳)にとって、記念となるよう、成人の実施委員の意見を尊重しながら、校歌や校章の入った記念品を配布した。		
						宝木	27人	1回						
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実													
	北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センターを拠点に活動している団体等の学習成果の発表の場を提供する。	北生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの感染防止対策に取組みつつ、できることに取り組んだ。	【次年度の方向性】 コロナ以前の「作品展示」「演芸発表」「社交ダンス」「模擬店」による文化祭を開催する。				
						17団体	199人	「作品展示」「演芸発表(動画放映)」を主に開催するとともに、撮影した動画については、文化祭後も施設ロビーで放映を実施する。						
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者が取り組む活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績							【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに対し、きめ細かく適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。
						内訳(件)								
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
12	10	0	0	1	23	23								

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数		受講決定者数
	講座数	実施回数	
成人対象事業	6	20	119人
子育て世代対象事業	5	16	130人
青少年対象事業	2	1	20人
計	13	37	269人

令和4年度 平石生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針							
<p>平石地区においては、少子高齢化の進行、特に高齢化が顕著であるとともに、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化などにより、地域を担う活動者の固定化や若い世代の活動者が少ないことなどから、地域活動の活性化や新たな人材の発掘・育成が必要となっている。</p> <p>こうしたことから、子どもから高齢者に至るまでの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活を送り、学んだ成果が地域活動への参加や次代を担う地域リーダーの育成に結び付ききっかけとなるよう、交流による仲間づくりや身近な地域の魅力の再発見による郷土愛の醸成を図る講座を実施する。</p> <p>また、保健福祉の東部地区の拠点としての利点を最大限生かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携し、地域住民の健康づくりや子育てに関する講座など、特色ある事業を積極的に展開していく。</p>							

★：令和4年度新規事業、 ◎：令和4年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			令和4年度事業実績・評価・今後の方針																													
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針																											
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象																																		
	◎★きらきらセミナー	幅広い世代が交流するきっかけづくりと、社会性や適応力を高めるため、学びをとおして個々の教養を深めて人間力を高め心の豊かに繋げる。	地域内の成人	9～1月	3回	<table border="1"> <tr><th colspan="3">【実施日】</th></tr> <tr><td>令和4年</td><td>9月</td><td>1日</td></tr> <tr><td>令和5年</td><td>2月</td><td>8日</td></tr> <tr><th colspan="3">【受講決定者数】</th></tr> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>34人</td><td>0人</td><td>70代～</td></tr> <tr><th colspan="3">【連携実績】</th></tr> <tr><td>連携実績数</td><td colspan="2">【連携団体等名称（企業・学校含む）】</td></tr> <tr><td>0回</td><td colspan="2"></td></tr> </table>	【実施日】			令和4年	9月	1日	令和5年	2月	8日	【受講決定者数】			合計	うち子ども	主な世代	34人	0人	70代～	【連携実績】			連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		0回			【今年度の実施状況】 朗読の楽しんだり、会話術を学んだりする内容を実施したが、託児を設けたことで、20代から80代までの受講生が交流できる場になった。	【次年度の方向性】 多世代間交流のきっかけづくりをするため、講座の回数を増し、継続して開催する。
	【実施日】																																		
	令和4年	9月	1日																																
令和5年	2月	8日																																	
【受講決定者数】																																			
合計	うち子ども	主な世代																																	
34人	0人	70代～																																	
【連携実績】																																			
連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】																																		
0回																																			
友遊教室	講話や体験を通して、参加者の健康づくり、生きがいづくり、居場所づくりを推進することで、健康維持の継続や、学習意欲、生活の向上に繋げる。	地域内の成人	6～12月	4回	<table border="1"> <tr><th colspan="3">【実施日】</th></tr> <tr><td>令和4年</td><td>6月</td><td>30日</td></tr> <tr><td>令和4年</td><td>12月</td><td>15日</td></tr> <tr><th colspan="3">【受講決定者数】</th></tr> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>31人</td><td>0人</td><td>70代～</td></tr> <tr><th colspan="3">【連携実績】</th></tr> <tr><td>連携実績数</td><td colspan="2">【連携団体等名称（企業・学校含む）】</td></tr> <tr><td>0回</td><td colspan="2">平石生涯学習センター登録団体</td></tr> </table>	【実施日】			令和4年	6月	30日	令和4年	12月	15日	【受講決定者数】			合計	うち子ども	主な世代	31人	0人	70代～	【連携実績】			連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		0回	平石生涯学習センター登録団体		【今年度の実施状況】 新しい形の芸術鑑賞や認知症に備えた運動レシビなどを実施したが、評価がやや低かった講座では、内容が広範囲に渡り、散漫となってしまったことと、コロナで体験が出来なかったことにより、満足度がやや低かったと考える。講座の内容として、テーマを限定して進める必要がある。	【次年度の方向性】 幅広い年代の交流のテーマを設定する中で、きらきらセミナーと区別がつかなくなるため統合し廃止する。	
【実施日】																																			
令和4年	6月	30日																																	
令和4年	12月	15日																																	
【受講決定者数】																																			
合計	うち子ども	主な世代																																	
31人	0人	70代～																																	
【連携実績】																																			
連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】																																		
0回	平石生涯学習センター登録団体																																		
スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	7・8月	1回	<table border="1"> <tr><th colspan="3">【実施日】</th></tr> <tr><td>令和4年</td><td>7月</td><td>6日</td></tr> <tr><td>令和4年</td><td>7月</td><td>6日</td></tr> <tr><th colspan="3">【受講決定者数】</th></tr> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>16人</td><td>0人</td><td>70代～</td></tr> <tr><th colspan="3">【連携実績】</th></tr> <tr><td>連携実績数</td><td colspan="2">【連携団体等名称（企業・学校含む）】</td></tr> <tr><td>0回</td><td colspan="2"></td></tr> </table>	【実施日】			令和4年	7月	6日	令和4年	7月	6日	【受講決定者数】			合計	うち子ども	主な世代	16人	0人	70代～	【連携実績】			連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		0回			【今年度の実施状況】 複数の講師（アドバイザー）の充実したサポート体制により、参加者が基本操作を学ぶことができた。基本操作を学んだ受講生が、宇都宮市の防災メールや健康ポイント等のアプリ等本市独自のデジタルサービスを利用できるよう講座内容を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 講座プログラムに、本市独自のデジタルサービスの登録作業と使い方説明を組み込み利用促進へ繋げる。	
【実施日】																																			
令和4年	7月	6日																																	
令和4年	7月	6日																																	
【受講決定者数】																																			
合計	うち子ども	主な世代																																	
16人	0人	70代～																																	
【連携実績】																																			
連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】																																		
0回																																			
学習情報の発信																																			
情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	<table border="1"> <tr><th colspan="3">令和4年度活動事例</th></tr> <tr><td colspan="3">・パンフレット等のラックへ配架やロビー等へのポスター掲示により、生涯学習情報を提供した。</td></tr> <tr><td colspan="3">・生涯学習サークル団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果（制作物など）の発表の場として、無料展示スペースを提供している。</td></tr> </table>	令和4年度活動事例			・パンフレット等のラックへ配架やロビー等へのポスター掲示により、生涯学習情報を提供した。			・生涯学習サークル団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果（制作物など）の発表の場として、無料展示スペースを提供している。			【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内で講座のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続して、生涯学習サークル団体や地域の福祉施設等の活動成果（制作物など）の発表の場として、無料展示スペースを提供する。																			
令和4年度活動事例																																			
・パンフレット等のラックへ配架やロビー等へのポスター掲示により、生涯学習情報を提供した。																																			
・生涯学習サークル団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果（制作物など）の発表の場として、無料展示スペースを提供している。																																			
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象																																		
	親子の広場「はくはく」	乳児を持つ親と子ども（子育て中の親子）が気軽に集い、母親同士の情報交換、育児相談、子育て事業（講座「はくはく」）を行うことで、親に精神的な安心感をもたらす地域の子育て支援の充実を図る場を提供する。	主に乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親子	5～3月	14回	<table border="1"> <tr><th colspan="3">【実施日】</th></tr> <tr><td>令和4年</td><td>5月</td><td>17日</td></tr> <tr><td>令和5年</td><td>2月</td><td>21日</td></tr> <tr><th colspan="3">【受講決定者数】</th></tr> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>174人</td><td>88人</td><td>30代</td></tr> <tr><th colspan="3">【連携実績】</th></tr> <tr><td>連携実績数</td><td colspan="2">【連携団体等名称（企業・学校含む）】</td></tr> <tr><td>0回</td><td colspan="2">0</td></tr> </table>	【実施日】			令和4年	5月	17日	令和5年	2月	21日	【受講決定者数】			合計	うち子ども	主な世代	174人	88人	30代	【連携実績】			連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		0回	0		【今年度の実施状況】 コロナ禍の中でも、家庭でできる遊びの工夫や子どもと一緒に身体を動かせることを学ぶことで、子育てが楽しくできる内容の講座とした。乳児を持つ子育て世代は、コロナ禍でも親子で活動できる場所を常に求めていることから、同じ年齢の子どもを持つ親同士のコミュニケーションがもっと活発にできるような設定が必要である。参加者同士の子育ての不安解消や感動の共感を持てるようにしていく機会として講座を実施する必要がある。	【次年度の方向性】 少子化が著しく、乳幼児の持つ親同士の触れ合う場が必要であり、乳幼児期の子育ての悩みを気軽に話せて、心身のストレスのリフレッシュに繋げ、同じ仲間とふれあうことで悩みを共有し、楽しく安定した子育てに繋げる講座を継続して開催する。
	【実施日】																																		
令和4年	5月	17日																																	
令和5年	2月	21日																																	
【受講決定者数】																																			
合計	うち子ども	主な世代																																	
174人	88人	30代																																	
【連携実績】																																			
連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】																																		
0回	0																																		
★こそだてサタデー	土曜日に事業を開催することで、今まで平日に参加しにくかった父親などの参加の機会を増やす。子育て中の親が、子育てについて学ぶ機会を作り、子育てを通じて人間として成長するための気づきを促す。また、親自身が心身ともに健康となり、子どもの教育に必要な知識を習得することで、家庭における教育力の向上に繋げる。	子育て中の保護者	6～1月	3回	<table border="1"> <tr><th colspan="3">【実施日】</th></tr> <tr><td>令和4年</td><td>6月</td><td>11日</td></tr> <tr><td>令和5年</td><td>2月</td><td>18日</td></tr> <tr><th colspan="3">【受講決定者数】</th></tr> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>22人</td><td>5人</td><td>40代</td></tr> <tr><th colspan="3">【連携実績】</th></tr> <tr><td>連携実績数</td><td colspan="2">【連携団体等名称（企業・学校含む）】</td></tr> <tr><td>0回</td><td colspan="2">0</td></tr> </table>	【実施日】			令和4年	6月	11日	令和5年	2月	18日	【受講決定者数】			合計	うち子ども	主な世代	22人	5人	40代	【連携実績】			連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		0回	0		【今年度の実施状況】 土曜日に講座を設定したものの、父親の参加が少なかった。講座の開催方法と工夫・改善が必要である。	【次年度の方向性】 母親層に定着している『親子の広場はくはく』の講座の中で家族で参加しやすいプログラムを企画していく。	
【実施日】																																			
令和4年	6月	11日																																	
令和5年	2月	18日																																	
【受講決定者数】																																			
合計	うち子ども	主な世代																																	
22人	5人	40代																																	
【連携実績】																																			
連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】																																		
0回	0																																		
青少年対象																																			
夏休みわくわく教室	多文化共生の推進につながる体験活動や交流を通じて、仲間との関わりを深める。	地域内の小学生	7～8月	2回	<table border="1"> <tr><th colspan="3">【実施日】</th></tr> <tr><td>令和4年</td><td>7月</td><td>28日</td></tr> <tr><td>令和4年</td><td>10月</td><td>11日</td></tr> <tr><th colspan="3">【受講決定者数】</th></tr> <tr><td>合計</td><td>うち子ども</td><td>主な世代</td></tr> <tr><td>26人</td><td>26人</td><td>小学生</td></tr> <tr><th colspan="3">【連携実績】</th></tr> <tr><td>連携実績数</td><td colspan="2">【連携団体等名称（企業・学校含む）】</td></tr> <tr><td>0回</td><td colspan="2">国際交流協会</td></tr> </table>	【実施日】			令和4年	7月	28日	令和4年	10月	11日	【受講決定者数】			合計	うち子ども	主な世代	26人	26人	小学生	【連携実績】			連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		0回	国際交流協会		【今年度の実施状況】 体験活動により子どもたちの興味・関心を高めた。より体験できる機会の創出を図る。	【次年度の方向性】 地域の企業、団体等と連携することにより、多様な体験活動を創出するとともに、地域への愛着がより育むようなプログラムとし、継続して開催する。	
【実施日】																																			
令和4年	7月	28日																																	
令和4年	10月	11日																																	
【受講決定者数】																																			
合計	うち子ども	主な世代																																	
26人	26人	小学生																																	
【連携実績】																																			
連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】																																		
0回	国際交流協会																																		
地域と学校が連携した教育活動の充実																																			
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	<table border="1"> <tr><th colspan="3">令和4年度活動事例</th></tr> <tr><td colspan="3">・魅力協で行うイベント等をセンター内で情報提供している。</td></tr> <tr><td colspan="3">・学習支援に係わる地域人材を紹介した。</td></tr> </table>	令和4年度活動事例			・魅力協で行うイベント等をセンター内で情報提供している。			・学習支援に係わる地域人材を紹介した。			【今年度の実施状況】 イベントの情報提供や地域人材の紹介などの支援を行った。	【次年度の方向性】 魅力協事業に係る地域への情報発信や学校に対する情報提供により活動支援を行う。																			
令和4年度活動事例																																			
・魅力協で行うイベント等をセンター内で情報提供している。																																			
・学習支援に係わる地域人材を紹介した。																																			

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針								
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績				評価	今後の方針		
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進													
	◎★ひらり発見講座【CKP】	地域団体との連携により、身近な地域団体の活動を地域に広め地域理解に繋げるとともに、地域資源を活かし地域に関心を持ち、地域活動の活性化や郷土愛を生む促進に繋げる。	地域内の成人	5～9月	3回	【実施日】 令和4年5月29日 ～ 令和4年9月28日				【今年度の実施状況】 鬼怒川の自然や平石の水について学び、地域に対する興味や関心を高めることができた。	【次年度の方向性】 昨年度に引き続き、地域団体の活動を地域に広め地域理解に繋げるとともに、歴史・文化等、地域資源に関する様々な興味や関心等をテーマに取り入れる。			
						【受講決定者数】 合計 132人 うち子ども 19人 主な世代 70代～								
						【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 柳田緑地クロコムラサキ愛護会								
	二十歳を祝う成人のつとめ	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことへの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 地域交流事業の内容を計画したが、準備期間の困難等で、内容を簡易的なものに変更した。	【次年度の方向性】 成人（二十歳）実施委員会を夏頃に開催し、地域交流事業の内容の打合せを早期から行うなど、継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。			
					鬼怒	23人	2回	成人（二十歳）のみの実施委員会をwebで開催し、全体の実施委員会の時は、遠方にいる成人（二十歳）の実施委員のために対面とwebでの参加を併せて開催した。						
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実													
	平石地区文化祭（同時開催：農業祭）	小学生の作品展や、平石生涯学習センター利用団体による学習成果を発表することで、文化活動や生涯学習を推進する機会とする。また、参加することにより、地域住民との連帯意識高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 コロナ禍前は、作品展に加え体験コーナー（生涯学習登録団体）を開催していたが、コロナ禍により作品展を縮小して開催した。	【次年度の方向性】 アフターコロナでの内容を検討し開催する。				
						12団体	194人	出展団体である平石地区小学校（2校）は小規模校であるため、全生徒の作品を展示することができる。						
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上のほか、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（件）				【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。	【次年度の方向性】 登録団体の学習活動やマナビスの団体更新情報を積極的に周知し、活動の質や学習意欲の向上を図る。また、相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。			
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						11	3	0	0	0	14	12		

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数			受講決定者数
	講座数	実施回数		
成人対象事業	4	講座	11回	213人
子育て世代対象事業	2	講座	10回	196人
青少年対象事業	1	講座	2回	26人
計	7	講座	23回	435人

令和4年度 清原生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>清原地区は、ゆいの杜地域において子育て世代を中心に人口が急増しており、転入者の地域コミュニティの形成やわがまち意識の醸成が課題となっている。さらには、LRTの開通を見据えた地域の観光振興や活性化を推進していくためには、次世代のまちづくりを担う人材の育成が不可欠である。</p> <p>このようなことから、転入者もまちづくりの推進力となるよう、人材育成に資する講座を開催するとともに、オンラインを積極的に活用し、幅広い世代が講座に参加しやすい環境整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が地域の魅力を再認識し愛着を深めるとともに、地域の観光振興や賑わいの創造に携わる人材の育成に向けた講座を展開する。 ・子育て世代の不安解消や家庭内の教育力向上を図るため、地元大学や地域在住の専門家などとの連携により、専門性が高く、子育て世代の学習ニーズに対応した事業を展開する。 	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象							
	青少年指導者・育成者研修会	地区の子ども会の役員や育成会役員など、地域で子育てに関わる人材のスキルアップを図り、地域における教育力の向上を図るもの。	地域内青少年育成関係者	8月	1回	【実施日】 令和4年8月6日 令和4年8月6日 【受講決定者数】 合計 4人 うち子ども 2人 主な世代 小学生の親子 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 清原地区国際交流会	【今年度の実施状況】 親子で学ぶ防災教室を実施したが、定員20人のところ、参加者が4人と少ないことから、オンライン講座など、参加しやすい環境を整備する必要がある。	【次年度の方向性】 引き続き、外国人家族との交流を行い、地域における相互理解を図る必要があるため、継続して開催する。
	★清原の魅力を発信しよう!!講座	LRTの開通を見据え、清原地区における観光振興を図るため、地域住民が地区の歴史・伝統・文化・民話・農業など地域資源の魅力を幅広く学び、わがまち意識の醸成を図るとともに、SNSを活用した地域の情報発信や、新たな賑わいの創出に携わるなど、観光ボランティアとして活動できる人材を育成する。	地区内住民	8~1月	4回	【実施日】 令和4年8月20日 令和5年1月11日 【受講決定者数】 合計 20人 うち子ども 0人 主な世代 70代~ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 作新学院大学	【今年度の実施状況】 歴史、食物、民話など、地域の魅力を学ぶ講座を実施した。受講者が、本講座で学んだ清原の魅力(歴史・文化、農業、民話)をSNS等を通して広く発信し、今後の清原地区の観光振興に繋げていく必要がある。	【次年度の方向性】 LRTの開通を見据え、受講者が清原の魅力を市内外へ広く発信し、清原地区の観光振興、さらには「まちづくり」にも繋げていくため、継続して開催する。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	6・7月	2回	【実施日】 令和4年6月20日 令和4年7月29日 【受講決定者数】 合計 20人 うち子ども 0人 主な世代 70代~ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 清原地区老人クラブ連絡協議会	【今年度の実施状況】 ・1回目の講座は、4名の講師(アドバイザー)が連携し、充実したサポート体制により、参加者が同じレベルで基本操作を学ぶことができた。2回目は、1回目よりも講師の人数が少なかったため、参加者の学びに差が生じたように見受けられた。このようなことから、講座開催の際は、1回目、2回目とも同水準のサポート体制を維持する必要がある。	【次年度の方向性】 今後も、清原地区におけるデジタル化を推進していくため、継続して開催する。
学習情報の発信								
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域住民などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している「地域情報コーナー」に利用団体のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。	【今年度の実施状況】 ・生涯学習情報は、市民に対し随時提供していく必要があることから、センター内に設置している掲示板にて提供している。 ・市民から、サークル活動の内容が分かる一覧表を求められたことから、その問合せを踏まえた資料を作成する必要がある。	【次年度の方向性】 ・引き続き、センター内の「地域情報コーナー」において、チラシやポスター等の媒体をとらして生涯学習情報を提供する。 ・サークルの活動内容が分かりやすい一覧表を作成し、市民の目を引くような場所へ配置する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象							
	ふれあい子育て広場	親子のふれあいを通し、親子の絆を深めるとともに、同世代の保護者同士の交流を深め、子育て世代の不安解消を図り、生き生きとした親子関係を育む。作新学院大学との連携により、専門的な学習内容を提供するとともに、受講者がオンラインか対面を選べるようにするなど、学習機会の充実を図る。	地区内の未就学児とその保護者	9~12月	4回	【実施日】 令和4年9月9日 令和4年12月7日 【受講決定者数】 合計 20人 うち子ども 10人 主な世代 20代 【連携実績】 連携実績数 2回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 作新学院大学女子短期大学部	【今年度の実施状況】 保健師による健康講話はとても好評であったことから、次年度も子育て中の悩みを解消できるような講座を開催する必要がある。	【次年度の方向性】 子育て中の悩みが少しでも解消でき、参加者同士の情報交換もできるような講座を継続して開催する。
	青少年対象							
	チャレンジ遊び塾	日常生活では体験できない「遊び」や「学び」を通じて、新たな物事への好奇心やチャレンジ精神を育む。	地域内小学生児童とその保護者	7・8月	1回	【実施日】 令和4年7月28日 令和4年7月28日 【受講決定者数】 合計 15人 うち子ども 15人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 0回	【今年度の実施状況】 各グループの人数を減らすなど、コロナ感染防止対策を徹底して開催した。コロナ禍においても実施できるよう工夫するなど、協力企業との調整を図る必要がある。	【次年度の方向性】 子どもの関心の高い「自然」をテーマに、毎年メニューをリニューアルし、魅力ある講座を継続して開催する。
企業体験教室	清原工業団地企業との連携による講座を開催し、「日本のものづくり」の偉大さや、日本を代表する企業が地域にあることを認識させ、子ども達の郷土に対する誇りと愛着を育む。講座の開催方法について、受講者がオンラインか対面を選べるようにするなど、学習機会の充実を図る。	地域内小学校児童	7月	1回	【実施日】 令和4年8月4日 令和4年8月4日 【受講決定者数】 合計 23人 うち子ども 23人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 キヤノン(株)	【今年度の実施状況】 受講生の配置(席)に工夫をこらすなど、コロナ感染防止対策を徹底して開催したが、コロナ禍においても実施できるよう工夫するなど、協力企業との調整を図る。	【次年度の方向性】 地域企業と連携し、学校や家庭では学ぶことのできない参加型(体験)の講座を開催し、「地域の誇り」と「ものづくりの素晴らしさ」を体感させる。	
地域と学校が連携した教育活動の充実								
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・清原中学校生徒会が実施する地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行った。	【今年度の実施状況】 ・コロナ禍のため、3年未実施である「清原の杜地域体験キャンプ」について、コロナ禍でも実施できるよう内容見直しを図る必要がある。	【次年度の方向性】 ・清原の杜地域体験キャンプについて、コロナ禍においても実施できる内容を検討する。

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針								
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針		
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進	二十歳を祝う成人のつどい	二十歳（成人）が地域の人とともに二十歳を祝う成人のつどいを作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことへの感謝の気持ちと地域に対する誇りを持つとともに、地域の人から学び、地域へ繋がる契機となることから、成人教育の第一歩として意義のある事業となるよう実施する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 ・実施委員の役割は、コロナ禍を踏まえ感染リスクを下げる対応を行う必要があることから、実施委員（二十歳）については、人との接触を極力減らす役割を分担して実施した。 ・実施委員（二十歳）について、コロナ禍前と同様の役割（受付）を分担したが、再会した成人者と旧交を温め滞留してしまったことから、改善策を講じる必要がある。		【次年度の方向性】 ・実施委員（二十歳）との打合せ等を通して役割を見直す。 ・継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。	
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	清原地区文化祭（同時開催：農業祭）	清原生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	清原生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 ・センター内で作品展示、動画発表会（センター内テレビや宮愉快動画館（Youtube）で放映）、プロジェクトマッピング放映による民話会や農業祭を実施した。 ・コロナ禍を踏まえ、感染リスクが少ない文化祭の開催方法について検討する必要がある。		【次年度の方向性】 感染対策を講じながら、コロナ禍前の実施手法により開催する。		
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上のほか、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 生涯学習団体登録やマナビス講師登録等の問合せや相談に際し、適切に対応する必要がある。		【次年度の方向性】 引き続き、問合せや相談に適切に対応していく。			
							来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
							0	0	0	0	0	0	5	

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	3	講座	7	回	44	人
子育て世代対象事業	1	講座	4	回	20	人
青少年対象事業	2	講座	2	回	38	人
計	6	講座	13	回	102	人

令和4年度 横川生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 横川地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が中心となり、様々な活動を展開しており、また、近年人口が増加するとともに、若い世代の割合が高い状況にある。一方で、少子・超高齢化や核家族化の進行に伴い、地域コミュニティの希薄化など様々な課題が生じており、地域の連帯感の醸成や地域を担う人づくりが急務となっている。このようなことから、住民自らが地域に目を向け、地域の課題に気づき、解決に向けた契機とするための講座や、青少年や子育て世代、高齢者など幅広い世代を対象に、学ぶことの楽しさや仲間づくり、生きがいづくりにつながる講座を実施し、学んだ成果を活かして地域で活動する人材の育成や、家庭・地域の教育力の向上に結びつくような事業を展開する。

★：令和4年度新規事業、 ◎：令和4年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要					令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象	ことぶき塾	日常生活に即した課題や社会問題、歴史、文化、芸能等、生きがいの創出につながるような講座を開催することで、高齢者がいつまでも元気でいきいきと豊かな暮らしを送れるよう支援を図る。	横川地区の60歳以上の住民	6～11月	5回	【実施日】 令和4年6月7日 令和4年11月8日 【受講決定者数】 合計 130人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 4回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 よこかわ地域包括支援センター、姿川地区市民センター、生活安心課、明治安田生命保険相互会社	【今年度の実施状況】 認知症予防や津軽三味線など、多様なテーマを実施したが、参加される方が60代から80代と年齢層に幅があることから、講座によっては、「運動が物足りない」、「講話が聞こえない」などの意見があった。	【次年度の方向性】 今年度同様、感染防止策を徹底するとともに、講座の定員を、今年度実施した講座の実施状況も考慮し、受講者のソーシャルディスタンスが確保できるような例年(80名)の半分とし、効率化を図り、継続して開催する。
	大好きヨコカワ【CKP】	横川地区のまちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用につながるよう、地域活動参画の契機となるような内容の講座を実施する。	横川地区住民等	7月	1回	【実施日】 令和4年7月9日 令和4年7月9日 【受講決定者数】 合計 24人 うち子ども 13人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 今年度は親子で学ぶ防災講座を実施した。今後は、講座回数を増やし、若い世代へ地域の魅力をアピールする必要がある。	【次年度の方向性】 防災に係る事や、片付けに関する等身近な事を親子で学ぶ機会を構築し、継続して開催する。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	7月	2回	【実施日】 令和4年7月5日 令和4年7月19日 【受講決定者数】 合計 31人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 ソフトバンク	【今年度の実施状況】 講師が1人しか来なかったため、センターとみんなでまちづくり課の職員が手伝ったことから、講師を増やすよう検討する必要がある。	【次年度の方向性】 人気の高い講座であることから、コロナ感染防止策を徹底し、生涯学習講座として2回開催するとともに、地域と連携した講座の開催を検討する。	
	学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、公共的学習事業団体等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の掲示スペースを提供した。	【今年度の実施状況】 生涯学習情報の発信の場として、出来るだけ新しい情報提供ができるよう生涯学習サークル団体へ適宜、働き掛けをしている。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内において学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するほか、生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供する。
進② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象	親子のびのび講座	就園前の幼児期に、体操やレクリエーション等を通して、親子のスキンシップを深め、親子双方の育ちを支援するとともに、同じ子育て世代同士が知り合う場や母親のライフデザインを考える契機を提供する。	2～3歳児とその保護者	7～12月	5回	【実施日】 令和4年7月17日 令和4年12月14日 【受講決定者数】 合計 36人 うち子ども 16人 主な世代 20代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 親子で楽しむクリスマス会や、ポジティブコミュニケーションなど、自分磨きをしながら、子育ての悩み相談や仲間づくりもできる講座を、感染防止策を徹底して開催した。	【次年度の方向性】 講座の目的である親子双方の育ちの支援、子育て世代同士が知り合う場や母親の自己肯定感を高めるために有効な講座であることから、継続して実施していく。
	青少年対象	ワクワク体験教室	児童が、同年代の子ども達と「ものづくり」などの体験活動を通して仲間意識を育みながら、創意工夫する力を身に付ける講座を実施する。	小学生	8月	3回	【実施日】 令和4年8月3日 令和4年8月24日 【受講決定者数】 合計 40人 うち子ども 40人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 カルビー(株)	【今年度の実施状況】 新型コロナ感染防止の徹底を図りつつ、ものづくりなどの体験活動を実施したが、今後は、夏休み中の開催として、楽しく学べることや仲間づくりとなるようなテーマを設ける必要がある。	【次年度の方向性】 講座の目的である「学ぶ楽しさ」「自ら考える」ことや仲間づくりに有効な講座であるため、次年度も継続して開催する。
果③ 地域理解の促進	地域と学校が連携した教育活動の充実	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・横川中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援	【今年度の実施状況】 地域協議会会議に出席し、情報交換を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として協力・支援を行っていく。
	を地活動動理解に解つなを促進する組講座のと学んだ成	まるごと横川【CKP】	地域学講座として地元横川の魅力などについて学ぶことを通して、地域に対する理解や愛着を深め、地域づくりに対する意識の醸成を図ることで、人材育成や地域ビジョンの推進につなげる。	横川地区住民等	9～11月	2回	【実施日】 令和4年11月26日 令和5年3月18日 【受講決定者数】 合計 人 うち子ども 人 主な世代 人 【連携実績】 連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 3月に実施予定	【次年度の方向性】 3月の実施を踏まえて決定する。

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針								
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針			
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 会場のスペース影響で、クラス別記念写真撮影の際、1クラス分の成人（二十歳）の方に席を立ててよけてもらいスペースを確保した。次年度はレイアウト等の検討が必要。	【次年度の方向性】 今年度同様の形で行う。継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。			
	横川ふれあいまつり（文化祭）	横川生涯学習センター利用団体や地区内の小中学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上や生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	横川生涯学習センター利用団体、地区内の小中学生及び各種団体、一般市民	11月	1回	18 団体	のべ来場者数	450 人	特色	【今年度の実施状況】 開催期間は1日であった。新型コロナの影響により、コロナ禍前に実施していたステージ発表、飲食品の販売等を取りやめ、規模を縮小し開催した。	【次年度の方向性】 飲食関係の出店等、通常開催を目指す。			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 コロナの状況によりサークル活動が減少している中で、コロナ対策を含めた問い合わせについて、正確かつ円滑な対応をした。	【次年度の方向性】 引き続き、相談内容に的確、迅速に対応できるよう取り組んでいく。				
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						0	0	0	0	0	0	92		

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	4	講座	10	回	185	人
子育て世代対象事業	1	講座	5	回	36	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	40	人
計	6	講座	18	回	261	人

令和4年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

瑞穂野地区においては、まちづくり協議会を組織する各種団体が中心となりさまざまなまちづくり活動を展開している。当地区は、大規模な住宅団地の形成により子育て世代が多く居住していることから、子育て支援や青少年の健全育成を着実に推進する必要がある。その一方で、高齢化や核家族化の進行、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、地域コミュニティの希薄化なども目立ってきており、生活の核である家庭の重要性とともに、地域内の結びつきの必要性も一層高まってきている。

こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、学ぶ人を増やし、学んだ成果が地域活動に結びつききっかけとなる事業の充実を図り、地域課題解決と変化する社会に対応するための講座を展開する。

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要					令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象								
	★◎女性のための大人の学び講座	子育てなどが落ち着いた女性が、健康に関することや本センターで活動する自主学習グループに参加することなどで学び、継続的な「学び」へのきっかけづくりと参加者同士の交流を行う。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	9月	2回	【実施日】 令和4年9月26日 ～ 令和4年10月3日 【受講決定者数】 合計 9人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 連携団体等名称(企業・学校含む) 平石地区市民センター保健福祉G	【今年度の実施状況】 参加者に興味を持ってもらえるような講座の検討と、地域の講師の発掘。	【次年度の方向性】 参加者には好評であり、参加者同士のコミュニケーションの場にもなっている。	
	はじめてのスマホ講座【CKP】	スマホの操作を学んで、日常生活を便利にするとともに、地域活動に参加するきっかけを作る。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	10月	1回	【実施日】 令和4年10月25日 ～ 令和4年10月25日 【受講決定者数】 合計 16人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 連携団体等名称(企業・学校含む)	【今年度の実施状況】 昨年度の実施状況を踏まえ、スマホの機種で受講者の座席をグループ化することで円滑に実施することができた。内容については、参加者が興味・関心が持てるよう、また、日常生活においてスマホを活用できるよう、内容を工夫する必要がある。	【次年度の方向性】 今後の日常生活に必要なアイテムであり、参加者に好評だったことにより継続とする。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	5～6月	1回	【実施日】 令和4年5月30日 ～ 令和4年5月30日 【受講決定者数】 合計 18人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 連携団体等名称(企業・学校含む)	【今年度の実施状況】 講師の持ち込み機器を使っただけの講座であったため、受講希望者が少なかった。内容については、参加者が興味・関心が持てるよう、また、日常生活においてスマホを活用できるよう、内容を工夫する必要がある。	【次年度の方向性】 市民まちづくり部主催であることから、方針等を踏まえながら、地域の方が関心を持ってもらえるような内容を検討していく。	
	totraを使ってみよう	高齢者などが、交通系ICカード「totra」を上手に利用して、生活の向上や地域活動へのきっかけを作る。 当初の事業計画では予定していなかったが、実施した。	市内在住者	11月	1回	【実施日】 令和4年11月9日 ～ 令和4年11月9日 【受講決定者数】 合計 8人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 連携団体等名称(企業・学校含む) 瑞穂野地区公共交通委員会	【今年度の実施状況】 参加者からは、非常に好評であった。totraを持っていない方が参加できないのではないかなど誤解が生じたため周知方法については工夫が必要である。	【次年度の方向性】 交通系ICカードは、今後の生活に必須となるため内容を工夫しながら継続して開催する。	
	女性のために健康づくり栄養講座	いつまでも若々しく元気でいられるように、身体の中から健康になるための知識を学ぶ。 当初の事業計画では予定していなかったが、実施した。	市内在住者	12月	1回	【実施日】 令和4年12月19日 ～ 令和4年12月19日 【受講決定者数】 合計 9人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 連携団体等名称(企業・学校含む) 明治安田生命宇都宮支社真岡営業所	【今年度の実施状況】 今年度は、明治安田生命と連携し、「身体の中から美しくなろう」というテーマで実施した。今後は、興味を持ってもらえる内容の検討を行う必要がある。	【次年度の方向性】 女性のための大人の学び講座の1コマに統合して開催する。	
学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズの的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、団体活動や会員募集のチラシを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習登録団体の一覧を窓口で配布した。	【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 生涯学習団体の活動について、ロビーに団体一覧を設置するなど、広く情報を提供できる工夫をする。	
② た家庭教育活動の推進と学校や地域と連携・協力	子育て世代対象								
	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得を促すとともに子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	就学前の幼児と保護者	6月	4回	【実施日】 令和4年6月3日 ～ 令和4年6月23日 【受講決定者数】 合計 8人 うち子ども 4人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 1回 連携団体等名称(企業・学校含む) 平石地区市民センター保健福祉G	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの感染を懸念してか参加者が少なかった。状況を見極めながら、安心して参加してもらえる環境を整える必要がある。	【次年度の方向性】 地域からのニーズの高い講座であるため、継続して開催する。	
はっぴー子育て講座	乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや学びを通して、家庭における子育て力の向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	乳児と保護者	6～7月	2回	【実施日】 令和4年6月29日 ～ 令和4年7月6日 【受講決定者数】 合計 14人 うち子ども 7人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 1回 連携団体等名称(企業・学校含む) 平石地区市民センター保健福祉G	【今年度の実施状況】 保健師によるミニ講話などを開催し、好評であったが、今後も参加しやすい内容を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 子育ての不安などに対する専門職のアドバイスが受けられ、地域のニーズが高い講座であるため、継続して開催する。		

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針
進② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	青少年対象											
	少年ふるさと教室	体験活動を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する青少年	5月1月	2回	【実施日】 令和5年1月22日 令和5年1月22日			【今年度の実施状況】 5月実施分については、新型コロナウイルス感染症の状況により中止した。1月実施分については、感染対策を適切に行いながら、見込みより多くの方が参加し、実施することができた。		【次年度の方向性】 共催する青少年育成会との連携もよく、地区内4小中学校の交流のため継続して開催する。	
	親子チャレンジ教室	専門家や地域のボランティアによる指導を受けながら、親子でいろいろなことにチャレンジすることにより絆を深めるとともに、体験活動等を通して青少年のリーダーとしての資質向上と育成を図る。また、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。	瑞穂野地区内に居住する青少年の親子	7・8・12月	4回	【実施日】 令和4年7月26日 令和4年12月24日			【今年度の実施状況】 館外学習では、コロナ禍で工場見学などが中止している企業が多く、計画が立てにくかった。		【次年度の方向性】 地域のニーズの高い講座であるため、継続して開催する。	
	地域と学校が連携した教育活動の充実											
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・必要な地域情報等の提供を行った。 ・中学校地域協議会においては学習支援部長として、未来塾の開催に協力した。			【今年度の実施状況】 魅力協事業に係る地域への情報発信や情報提供により活動支援を行った。		【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として協力支援を行っていく。	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進											
	◎地域学「みずほの」	地域の特性や歴史、文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	3月	2回	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日			【今年度の実施状況】 3月に実施予定		【次年度の方向性】 3月の実施を踏まえて決定する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 昨年度と同会場だったこともあり、問題なく進行できた。		【次年度の方向性】 実施委員の意見を聞きながら、成人のつどいが円滑に進められるように支援する。
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実											
	【みずほのフェスティバル】瑞穂野生涯学習センター文化祭（同時開催：農業祭・福祉まつり）	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人等・センター利用団体	11月	1回	18団体	619人	生涯学習団体で構成されている「クラブ友の会」が主体となり、展示を行っている。また、農業祭・福祉まつり等を併せて開催し、地域で最大の行事となっている。		【今年度の実施状況】 作品展示・演芸会を実施したが、開催スペースを調整する必要がある。		【次年度の方向性】 作品展示・演芸会を実施し、生涯学習団体の成果を発表できる機会をつくる。また、他の地域行事を併せて開催し、コロナ前の賑わいが戻るよう努める。
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 生涯学習活動に興味がある方が、窓口で相談できることを周知した。		【次年度の方向性】 生涯学習団体の登録や、団体活動したい人が相談しやすい環境をつくる。	
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ
						2	2	0	0	0	4	4

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数			受講決定者数
	講座数	実施回数		
成人対象事業	6	6	回	60人
子育て世代対象事業	2	6	回	22人
青少年対象事業	2	5	回	317人
計	10	17	回	399人

令和4年度 城山生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針									
<p>第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現のために、個人の興味や関心に沿った多様な学習活動への支援を継続するとともに新型コロナウイルス感染症により社会情勢や生活様式が変化の中で、地域主体のまちづくりを推進するため、地域と連携した人づくりや地域づくりの講座を実施する。</p> <p>また、城山地区の豊かな自然と歴史ある地域資源を活かしその魅力を再認識できる講座や、災害対応など地域が抱える課題に対応するための講座を実施し、学習した成果を地域活動に生かすことができる地域の人材育成はもとより、家庭・地域の教育力の向上や、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりに取り組む。</p>									

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要					令和4年度事業実績・評価・今後の方針					
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象											
	◎ヒトマチづくり	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通し、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。	地域内住民	9月	1回	【実施日】 令和4年9月11日 ～ 令和4年9月11日	【今年度の実施状況】 地域住民の防災意識が高いことから、防災関係の講座を開催した。（市危機管理課職員を講師として、マイタイムラインの作成をテーマとした内容）マイタイムラインの作成だけでなく、防災に関する様々な問題を質疑応答でき有意義だった。	【次年度の方向性】 地域の防災意識は年々高まっていることから、当面は防災関係の講座を企画していく。				
	いいきせセミナー【Vスタッフ】	多様化する住民のニーズに合わせて、今、住民が必要とする情報や学習機会を提供することで、生涯学習のきっかけとなり、心豊かな生活の一助となるよう支援する。	地域内住民	6～10月	3回	【実施日】 令和4年6月30日 ～ 令和5年10月5日	【今年度の実施状況】 スマホ基礎講座と抱き合わせで実施した。当初認識していたVスタッフとの役割分担に乖離があり、講座を進めることとなったことから、事前の連絡調整が必要である。	【次年度の方向性】 講座内容を定型化せず、その時の社会情勢や地域のニーズに合った講座を企画し、継続して開催する。				
	学習情報の発信											
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 生涯学習センター内に設置している掲示板へ、各生涯学習センター講座のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。	【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 継続して、生涯学習センター内に設置している掲示板でのチラシやポスターなどの学習情報の提供等を行っていく。				
推② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の	子育て世代対象											
	ともぞだち広場	乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、子を持つ親同士が情報交換や情報を共有しながら、親子共々成長していく過程を支援していく。	0～3歳までの乳幼児とその保護者	4～12月	8回	【実施日】 令和4年4月19日 ～ 令和4年12月20日	【今年度の実施状況】 季節の行事やリズム遊びなどを実施した。0～3歳児が対象でできることに大きな差があるため、どんな年齢層でもできる限りできるような内容の工夫が必要である。	【次年度の方向性】 子育て中の親子がいろいろな人と交流する機会を得ることで仲間を得て、楽しい子育てができるようにすることを目的に、継続して開催する。				
	青少年対象											
	親子でにこにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地産の食材を活用し、地域への関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。	地区内小学校に通学する児童とその保護者	7・12月	2回	【実施日】 令和4年7月9日 ～ 令和4年12月10日	【今年度の実施状況】 定員を各テーブル2組までとし、試食はアクリル板の使用かつ黙食とした調理実習を実施した。調理内容に工夫が必要なのが募集定員に対して応募が少なかった。	【次年度の方向性】 親子一緒に調理する楽しさを味わってもらうとともに自分で作った料理を食べるおいしさを感じてほしいことから、継続して開催する。				
	地域と学校が連携した教育活動の充実											
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 城山中学校魅力ある学校づくり地域協議会と協力し、生涯学習講座「しろやま地域学」を実施	【今年度の実施状況】 企画段階から協議に加わり、より充実した内容となるよう支援した。	【次年度の方向性】 さらに育成会等の地域団体と交流できるよう支援していく。				
な③ 地域理解の促進	しろやま地域学	地域に目を向け、豊かな自然や文化財などの地域資源を知ることで、地域の持つ魅力や課題に気付くきっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。	地域内住民	8月	1回	【実施日】 令和4年8月2日 ～ 令和4年8月2日	【今年度の実施状況】 城山地域の魅力を再発見する講座を実施した。城山には歴史的なものが多くあり、それらの魅力を参加者に効果的に伝えられるコースの設定が必要である。	【次年度の方向性】 「城山再発見」は地区内小中学校の教員が参加し、地域を知る良い機会となっているため引き続き実施する。				
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	【実施日】 中学校区 実施委員数 実施委員会 実施回数 各地域の取り組み 城山 23人 1回 受付などの各業務の効率化を図り、円滑に式典を開催した。また、協賛金を使用して地域特有の記念品を配布した。	【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。	【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。				

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針
つ③ な地 げ域 理解 仕組 み促 進の 充実 する 講座 と学 んだ 成果 を活動 に	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実											
	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体、地域内小・中学校県立盲学校、及び各種団体、一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色		【今年度の実施状況】 来場者等の把握や手洗、手指・施設の消毒、換気、飲食の制限、出演者等の感染対策など新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、ホールアトラクション、作品展示、地域団体PRコーナー、模擬店、農産物販売（農業祭）など規模は多少縮小したが実施することができた。	【次年度の方向性】 新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、できるかぎり従来の文化祭・農業祭の規模や内容に戻るよう目指す。	
					15 団体	670 人	地域内小・中、盲学校等の作品出展や出店協力、地域のお囃子会の演奏など地域が一体となり、文化祭・農業祭を同時開催している。					
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。		【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援する。また、登録団体の学習活動などを積極的に周知することで、活動の質や学習意欲の向上を図る。		
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
					0	0	0	0	0	0	0	

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	3	講座	5	回	86	人
子育て世代対象事業	1	講座	8	回	26	人
青少年対象事業	1	講座	2	回	15	人
計	5	講座	15	回	127	人

令和4年度 国本生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
地域の生涯学習活動の拠点として社会の要請や地域住民のニーズに応じた多様な学習の場を提供することで、「地域で活躍できる人づくり」・「家庭や地域の教育力向上」・「絆づくり」を目的とした事業に取り組む。 (ア) 地域人材や地域資源を活かし、地域を学ぶ講座を継続的に開催することで、地域の良さを再認識し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域に還元できる人づくりを目指す。 (イ) 地域と連携し、防災に関する講座を開催することで、災害時に適切な対応ができるようにするなど、地域の安心・安全な生活を支えることができる人材の育成に繋げる。 (ウ) 地域と家庭・学校等と連携した事業を実施し、家庭と地域が一体となって子どもを育てていくという意識を醸成し、地域全体の教育力向上を図る。 (エ) サークル活動の支援及び趣味・教養・社会の要請等に応じた主催講座や地区文化祭の開催などを通して、地域の方々の絆を深める交流の機会を創出し、地域コミュニティづくりの強化を図る。	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象								
	くにもと生き生き教室1	地域の人々が、日々元気で生き生きとした生活を送れるよう、フレイル予防等について学び、健康寿命の延伸に役立てるとともに、受講者同士の交流を通して地域の絆を深めていく。	地区内在住の一般成人	7月	2回	【実施日】 令和4年7月20日～ 令和4年7月29日 【受講決定者数】 合計 14人 うち子ども 0人 主な世代 不明 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 基本的な感染予防対策を徹底し、呼吸を抑える軽い運動内容とした。参加者が固定化してきていることから、内容の見直しが必要である。	【次年度の方向性】 健康寿命延伸のため、楽しく健康づくりについて学べる講座として継続して開催する。	
	◎くにもと生き生き教室2【CKP】	地域から要望のあった、地域課題(防災関連)の解決に役立つ講座を開催することで、国本地区の人が安心・安全かつ生き生きとした生活を送れるようにするとともに、受講者同士の交流を通して地域の絆を深めていく。	地区内在住の一般成人	11月	1回	【実施日】 令和4年11月5日～ 令和4年11月5日 【受講決定者数】 合計 70人 うち子ども 0人 主な世代 60代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 自治会や各種団体に直接及び自治会回覧で広く参加を呼び掛け、天気と防災をテーマに実施した。地域住民(特に、働く世代)への防災知識の普及と意識啓発が必要である。	【次年度の方向性】 意識啓発事業は、継続的に実施し浸透させる必要があるため、継続して開催する。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバインド及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	5・7月	2回	【実施日】 令和4年5月20日～ 令和4年7月8日 【受講決定者数】 合計 23人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 複数の講師(アドバイザー)の充実したサポート体制により、参加者が基本操作を学ぶことができた。	【次年度の方向性】 同一内容の基礎講座で引き続き実施する場合は参加者の確保が厳しいと思われるため縮小する。	
	学習情報の発信								
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板にサークルのチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。	【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内でサークルのチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。	
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象								
	親子ワクワク教室【Vスタッフ】	親子での様々な体験等を通して、子育ての悩みを解決するための知識を習得するとともに、同世代の親子と触れ合い情報交換することで、家庭や地域内における教育力向上に役立てる。また、保健師の講話を聞くことで、子育ての環境をより充実できるよう、子どもと保護者それぞれの健康管理について学ぶ。	市内在住の就園前の乳幼児とその保護者	6～12月	6回	【実施日】 令和4年6月23日～ 令和4年12月7日 【受講決定者数】 合計 20人 うち子ども 10人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 保健師の講話とリズム遊びなどを実施した。子どもが途中で飽きてしまった講座があったため、最後まで楽しめる内容となるよう検討が必要である。	【次年度の方向性】 コロナ禍における子育て中の親のコミュニケーションの場として引き続き開催の必要性があるため、継続して開催する。	
	青少年対象								
	くにもとyou・遊・club	国際化社会の進展に向け、将来を担う小学生に外国の文化や食習慣に触れてもらうことにより、国際感覚や多文化共生意識の醸成を図る。	地区内小学校の児童	12～1月	2回	【実施日】 令和4年12月17日～ 令和5年1月21日 【受講決定者数】 合計 20人 うち子ども 10人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 学校行事を確認したうえで、余裕のあるPRや募集期間を設けた。調理実習は材料の高騰で参加費の設定が難しい。	【次年度の方向性】 親子で参加できる講座が定着しており、リピーターの希望があるため継続して開催する。	
夏休みチャレンジ教室	小学生の夏休みの宿題に役立つ工作や科学実験など、体験型の講座を開催することで、ものづくりや科学の楽しさを学ぶとともに、他学年・他校の児童との交流を通して仲間づくりを図る。	地区内小学校の児童	7～8月	2回	【実施日】 令和4年8月4日～ 令和4年8月4日 【受講決定者数】 合計 6人 うち子ども 6人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 夏休みの宿題に役立つ科学実験や、万華鏡づくりを実施したが、参加人数が定員の半数にも満たなかったため、募集方法の検討が必要である。	【次年度の方向性】 学校で学べない事や体験できない事を夏休みに身近な生涯学習センターで体験できるため、継続して開催する。		
	地域と学校が連携した教育活動の充実								
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・国本中学校魅力ある学校づくり地域協議会の構成メンバーとして会議や行事に出席し、情報交換するとともに、当センターで実施している学習支援事業「ありんこ学習室」など、事業実施について支援した。	【今年度の実施状況】 地域協議会会議に出席し、情報交換を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して事業実施などについて支援していく。	

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績				評価	今後の方針
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる講座の充実	地域理解の促進											
	◎10倍楽しむ国本塾【CKP】	地域人材が講師となり、歴史・文化と地域行事、特産品などを組み合わせた地域学講座を開催することで、地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域課題解決のために還元できる人材の育成を図る。	地区内在住の一般成人	6～11月	5回	【実施日】 令和4年6月25日～ 令和4年11月19日				【今年度の実施状況】 地域人材が講師となり、地域ゆかりの地の訪問や特産品などの講座を開催した。現地学習について、高齢者でも歩きやすいよう、悪天候時の対応を考える必要がある。	【次年度の方向性】 地域の良さを再認識し、その学習成果を地域に還元できる人材を育成するために、継続実施とする。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 新成人の実施委員全員と中々連絡が取れず、また、情報共有が難しかった。	【次年度の方向性】 引き続き、メールやSNSでの情報共有に努める。	
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実												
国本生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月		出展団体数	のべ来場者数	特色				【今年度の実施状況】 コロナ禍のため参加を自粛する団体も多く、多少盛り上がり欠けた部分があった。	【次年度の方向性】 感染対策を徹底して実施予定（詳細は未定）
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩み解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）				【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた学習活動に繋げるとともに、学習の質の向上、また、学習活動中の問題や悩み解決のため、引き続き支援をしていく。		
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
					12	0	0	0	0	12	12	

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	4	講座	10	回	130	人
子育て世代対象事業	1	講座	6	回	20	人
青少年対象事業	2	講座	3	回	26	人
計	7	講座	19	回	176	人

令和4年度 富屋生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業が活発に展開がなされており、今後も継続して「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成が、一層求められている。こうしたことから、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づき、地域資源の活用や課題解決に向けた取り組みの契機とするための地域学講座などへの参画を通して、地域社会を支える「人づくり」を推進するため、生涯学習事業の充実に努める。</p> <p>また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、子育て世代の親子を対象とした特色ある事業を展開していく。</p>	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要					令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象								
	高齢者教室	情報化や少子高齢化など、高齢者を取り巻く環境が変化している中、日常生活に即した課題解決に取り組むとともに、高齢者がいつまでも元気で心豊かに過ごせるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を図る。	地区内の60歳以上の成人	9～11月	2回	【実施日】 令和4年10月24日 令和4年11月28日 【受講決定者数】 合計 うち子ども 主な世代 20人 0人 70代～ 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 富屋地区老人クラブ連合会	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、開催時期や方法について連携団体と協議を行い開催した。募集は、老人クラブへの周知に加え、自治会回覧も実施したが定員に満たなかったことから、募集のさらなる強化を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 講座内容(日常生活に即した課題解決策)等への満足度も高いことから、継続して開催していく。	
	とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通して、地域のネットワークを広げるとともに、女性の力で地域カアップを図る。	地区内の成人女性	6～12月	3回	【実施日】 令和4年6月7日 令和4年8月2日 【受講決定者数】 合計 うち子ども 主な世代 13人 0人 60代 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 0回	【今年度の実施状況】 コロナ禍ということもあり、定員に満たなかったが、感染拡大の中での開催では、安心して受講してもらえた。講座内容はとても良く、受講生の満足度は高かった。材料費がかかる講座については、当日キャンセルがあっても対応できるように、事前に材料費を徴収する必要がある。	【次年度の方向性】 女性がいそいそと活躍するための知識を学び、地域で活動する仲間を作る講座のため継続して開催とする。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在勤在住のスマホ初心者	5・8月	1回	【実施日】 令和4年5月25日 令和4年5月25日 【受講決定者数】 合計 うち子ども 主な世代 18人 0人 70代～ 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 富屋地区まちづくり連絡協議会	【今年度の実施状況】 複数の講師(アドバイザー)の充実したサポート体制により、参加者が基本操作を学ぶことができた。みんなでまちづくり課が一括して講師との打合せを行っており、講義の一部に受講生が誤解を招く内容があったことを事前に把握することができなかったことから、事前の情報共有が必要である。	【次年度の方向性】 今後もICT化を進めるにあたり、必要な講座であることから、継続して開催とする。	
	学習情報の発信								
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習登録団体の一覧や施設利用の案内等を作成し、問い合わせの際に活用した。 ・各種ポスターを掲示し情報提供を行った。	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの影響等により、生涯学習登録団体の活動や団体登録数が減っているため、調整会議等で広報した。生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習登録団体活動の情報提供やポスター掲示を行う。	
	子育て世代対象								
	親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	就園前の乳幼児とその保護者	10～12月	3回	【実施日】 令和4年10月21日 令和4年12月9日 【受講決定者数】 合計 うち子ども 主な世代 18人 9人 30代 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 0回	【今年度の実施状況】 ひとつの内容短く設定するなど、講座内容に変化をつけるなど、飽きさせない工夫を行った。地区内には就園前の乳幼児が少ないことから、募集の方法を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 受講者へのアンケートでは満足度がとても高く、親子のふれあいを深める機会の提供ができるとともに、同じ年代の子や親同士が交流できる機会作りにつながることから、継続して開催していく。	
	青少年対象								
	タコづくり講習会	子どもたちの遊びの主流がゲームになっている現代において、地域の伝統的な遊びである凧揚げを年齢に合わせた凧づくりを体験する事により、豊かな心と想像力を育むとともに、下野凧を後世に伝える。	富屋小学校児童	11～12月	2回	【実施日】 令和4年11月21日 令和4年12月4日 【受講決定者数】 合計 うち子ども 主な世代 27人 26人 小学生 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1回 富屋地区青少年育成会	【今年度の実施状況】 募集チラシを富屋小学校経由で配布したほか、富屋地区青少年育成会の各支部へ参加の取りまとめを依頼し、多くの人に受講してもらえるよう、PRを工夫した。子ども達にタコづくりを教えるには、講師のほかボランティア(育成会執行部)の協力が必要であるため、複数の種類の作り方を習得してもらう必要がある。	【次年度の方向性】 地域の伝統的な事業でもあることから、次年度も富屋地区青少年育成会と共催で継続して開催する。	
とみや再発見【CKP】	富屋小学校に学ぶ児童が、自分たちの住んでいる地区の自然や歴史、文化、産業などについて自ら調べ、学習能力を高めるとともに、地域の素晴らしさや魅力を知り、郷土愛の心を育てる。	富屋小学校児童	12～1月	4回	【実施日】 令和4年7月6日 令和 年 月 日 【受講決定者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人 人 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 回	【今年度の実施状況】 2月に実施予定	【次年度の方向性】 2月の実施を踏まえて決定する。		
地域と学校が連携した教育活動の充実									
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 富屋生涯学習センター主催講座「とみや再発見」と「富屋小学校6年生の総合学習のフィールドワーク」時への引率及び説明を富屋小学校地域協議会メンバーとともにいった。	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの感染により、予定していた引率者の人数が減ってしまったため、余裕をもって人材確保をする必要がある。	【次年度の方向性】 今後も継続して、支援・協力を行っていく。		

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針							
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績				評価	今後の方針	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進	◎とみや魅力発見 ガイド養成講座	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特徴を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また、これらを後世に伝えるために、地域以外の住民にも広く受講者を募り、解説できる人材を育成する。	富屋の自然・歴史・文化財に興味のある方	6～7月	5回	【実施日】 令和4年6月2日 ～ 令和4年7月7日				【今年度の実施状況】 各生涯学習センターや図書館にチラシの配布や、昨年度の地区外の受講生などにも開催通知を送付するなどPRに努め、富屋地区の魅力を発信する講座を実施した。今後は講義後の質問や意見交換など、学習の成果の場を設ける必要がある。	【次年度の方向性】 地域の魅力を伝える人材育成に繋がっているため、継続して開催とする。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 式典の実施時間の短縮を図るため、式典において実施していた「恩師お祝いのごとば」及び「お礼のごとば」を地域交流事業で実施した。	【次年度の方向性】 ・感染症対策の観点から、成人のつどい終了後も会場に長く滞在する人の退出を促す。 ・継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。		
	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	とみやふるさとまつり	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の対応のため、飲食関係の出店を取り止め、規模を縮小して実施したが、地域を代表するイベントであることから、コロナの動向もあるが、多くの団体が出展・出演し、より多くの地域住民が参加できる対策と対応が必要。	【次年度の方向性】 コロナ等の対策を盤石にし、より多くの団体に出演・出演してもらい、さらに賑わいのある地域イベントとする。		
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）				【今年度の実施状況】 市民からの問い合わせに対して、マンベイス等を確認して回答するなど、相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。			
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
						2	3	0	0	0	5	10	

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	4	講座	11	回	70	人
子育て世代対象事業	1	講座	3	回	18	人
青少年対象事業	2	講座	5	回	27	人
計	7	講座	19	回	115	人

令和4年度 豊郷生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 豊郷地区においては、地域まちづくり協議会が主体となった各種まちづくり事業をはじめ、地域団体・学校との連携を組織である各種団体が主体となり地域活動が活発に展開しているが、地域住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、少子・超高齢化や都市化・核家族化の進行による家庭・地域の教育力低下など、地域を取り巻く環境に様々な課題が生じている。
 このことから、多様化する地域ニーズや話題等を的確に捉え、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象とした講座を開催し、学ぶことの喜びを通じた仲間づくり・生きがいつくりや郷土愛の醸成へとつなげるとともに、学んだ成果を地域づくりに活かせる環境を構築するなど、人間力や家庭の教育力の向上に資する事業に取り組む。

★：令和4年度新規事業、 ◎：令和4年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要			令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象							
	とよさと元気塾	情報化、国際化、少子高齢化など、高齢者を取り巻く生活環境は常に変化している。そのような中で、心豊かに過ごせるよう、仲間づくり、生きがいつくりを支援するとともに、地域社会を支える人づくりを目指す。	地区内 在住の 成人 (60歳以上)	6～11月	5回	【実施日】 令和4年6月21日～ 令和4年10月18日 【受講決定者数】 合計 44人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 行政の出前講座を活用して実施した。今後は大学や企業の出前講座にも範囲を広げるなど、内容を充実させる必要がある。	【次年度の方向性】 高齢者の健康づくりや生きがいつくり、受講者同士の交流などを支援するため、継続して開催する。
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	6月7月	2回	【実施日】 令和4年6月28日～ 令和4年7月26日 【受講決定者数】 合計 39人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 ・使用する機種がandroidとのことだったので募集チラシに記載したが、実際はiPhoneだった。また、内容が市ホームページの閲覧までということだったが、講師によって若干の差があった。 ・みんなでまちづくり課が一括して、講師との打ち合わせを行っていたことから、事前に詳細な情報共有が必要である。	【次年度の方向性】 毎回定員を大幅に超える応募があり需要が高い講座であることから、継続して開催する。
学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・センター内に他センターや県などの生涯学習事業のチラシの配架や、ポスターの掲示を行い、来館者に生涯学習事業を提供した。 ・また、生涯学習団体向けに掲示用パネルを設置し、団体自ら情報発信できる場を提供した。	【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内で民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象							
	子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育て中の親の仲間づくりを図る。	就学前の幼児と保護者	6月～12月	6回	【実施日】 令和4年6月9日～ 令和4年12月22日 【受講決定者数】 合計 51人 うち子ども 25人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 年齢層を分けて、歩行できるようになった子から参加できるよう募集し、リトミックなど親子のふれあいを深める内容を実施した。参加者のリピーターが多いことから、毎回申込受付をするのではなく、連続講座にし、他課との連携などバラエティに富んだ内容にする必要がある。	【次年度の方向性】 参加者のアンケートから満足度が高く好評だったため、継続して開催する。
	◎親育ち講座	家庭を取り巻く社会情勢が変化するなか、子育てへの自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。	市内在住の1～3歳児の保護者	9月～10月	4回	【実施日】 令和4年9月8日～ 令和4年10月17日 【受講決定者数】 合計 7人 うち子ども 0人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 効果的なグループワークができるよう、講師と密に連絡を取り合い、ワークショップを実施した。今年度は子育ての自主サークルが立ち上がり、親同士の交流で来る場ができて、効果が得られた。申込が少ない傾向があることから、市の広報紙や地域回覧など、周知の方法を工夫し、参加者を募っていく必要がある。	【次年度の方向性】 受講者のアンケートなどから満足度の高い講座であったため継続して開催とする。
青少年対象								
わくわく体験教室	子どもの頃の体験や多くの大人との出会いが、生きる力を育み人間力の向上を培うことから、学校、学年、学級を越えた仲間との交流や、生活体験・社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。	地区内小学校4・5年生	6～10月	5回	【実施日】 令和4年6月4日～ 令和4年10月1日 【受講決定者数】 合計 40人 うち子ども 40人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 5回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 衛生環境試験所、帝京大、カルビーNPOうつのみや環境フォーラム、栃木県障がい者スポーツ協会	【今年度の実施状況】 市出前講座・企業の出前講座や大学の出前講座などを活用し、魅力ある講座の提供を行った。新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していた講座が変更になってしまった講座があるため、講座を計画する際に事前に定員等の調整を十分に行う必要がある。	【次年度の方向性】 地区内4小学校の仲間づくりの場を創出するため、講座内容や講座手法の見直しを図り、講座を継続して開催する。	
地域と学校が連携した教育活動の充実	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・各校の地域協議会に出席した際には、情報提供や助言等を行っている。 ・地域協議会(豊北小)が実施したあいさつ運動については、ポスターの掲示について協力を行った。 ・5校地域協議会の合同講演会の開催にあたり、参加希望者の取りまとめ等について支援・協力を行った。	【今年度の実施状況】 地域協議会等のスムーズな事業実施のため、関係者と連絡を密に取りながら支援する必要がある。	【次年度の方向性】 地域協議会等の取り組み事業が円滑かつ効果的に実施できるよう、引き続き支援・協力を行っていく。
げと③ 地域理解の促進	◎まほろば探検塾	地域の歴史や文化を学ぶことにより、地域の持つ魅力や課題に気づき、それを活かした地域の活動や課題解決につなげるとともに、学びを通して仲間づくりを目指す。	地区内 在住の 成人	8～11月	4回	【実施日】 令和4年9月21日～ 令和4年12月14日 【受講決定者数】 合計 41人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 地域の歴史や文化を学ぶ内容の講座を実施し、豊郷地区のことを知ることができて良かったという声が多いのはもちろんだが、テーマを豊郷にあまりこだわらなくてもいいのではという声もある。地域密着型の講座を意識しながら、バランスの良いテーマを設定する必要がある。	【次年度の方向性】 受講生の満足度が高く、地域を知ることで郷土愛を醸成する有意義な講座であることから、次年度も継続して開催する。

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針							
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	防災講座【CKP】	いつやってくるかわからない災害に備えるために防災に関する様々な知識を習得し、命を守る行動につなげるための地域防災力の向上を目指す。	地区内在住の成人	2月	1回	【実施日】 令和 5 年 2 月 26 日 ～ 令和 年 月 日			【今年度の実施状況】 2月に実施予定		【次年度の方向性】 2月の実施を踏まえて決定する。		
	【受講決定者数】						合計	うち子ども	主な世代				
	【連携実績】						連携実績数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】					
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 二十歳の成人が、会場前のロビーに滞留し、入退場に時間がかかった。会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。		【次年度の方向性】 ・退場を促す実施委員をあらかじめ割り当てることで円滑な運営を図る。 ・継続して実施委員と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に運営する。	
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実													
	豊郷まつり（センター文化祭）	センター利用団体の学習成果の発表	豊郷生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色			【今年度の実施状況】 生涯学習団体の作品展示、ステージ発表や地域団体等による模擬店や健康コーナー等の出展、豊郷中学校吹奏楽部による演奏等を実施した。 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、模擬店の出店やお食事スペースの設置について工夫や、検温・消毒ブース等の人員配置の充実が必要。		【次年度の方向性】 ・来場者が安心して参加できるよう新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、文化祭を開催する。
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 学習相談がなかったが、今後も相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行う必要がある。		【次年度の方向性】 学習相談があった場合は、相手のニーズを踏まえて適切に対応できるよう、日頃から情報収集に努めていく。		
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	
						0	0	0	0	0	0	0	

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数			受講決定者数	
	講座数	実施回数			
成人対象事業	4	講座	11	回	124 人
子育て世代対象事業	2	講座	10	回	58 人
青少年対象事業	1	講座	5	回	40 人
計	7	講座	26	回	222 人

令和4年度 篠井生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

篠井地区は、古くから豊かな自然に恵まれ、世代間の交流を大切に、歴史と伝統が大切に守られてきた地域であり、まちづくり協議会とその構成団体である各種団体が主体となり地域活動を活発に行ってきた。しかしながら、少子超高齢化、コミュニティ意識の希薄化、団体役員の固定化や担い手不足など、さまざまな課題も生じている。このようなことから、学びを通して豊かな人間性を育み、地域コミュニティや地域教育の向上を図るため、「篠井地域ビジョン」の考え方にに基づき、地域教育の向上を図る講座、子育ての仲間づくりや家庭教育を学ぶ体験的な講座、魅力や課題を捉える地域学講座などに取り組み、地域の人材育成とともに「自然と共に伸び伸びと生きるまち 篠井」を目指す。

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【スタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針			
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域事業住民の推進	成人対象	輝き人生教室	余暇の有効活用、健康の維持促進、世代間交流を通して、健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。	高齢者	5～12月	5回	【実施日】 令和4年5月10日 令和4年12月9日 【受講決定者数】 合計 95人 うち子ども 39人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 5回 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 篠井地区松寿会連合会	【今年度の課題】 感染症対策を十分にとり、安全な講座の企画・運営に努めた。世代間交流や余暇などの講座を実施したが、参加者については、高齢者が主体であることから、参加増員よりも現状維持に努めていく必要がある。	【次年度の方向性】 小学校児童とのふれあい学習は、重要であり、小学校からも依頼があることから、継続して開催する。
	学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供。	【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内で民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続して、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供する。
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象	ワクワク子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め、心身の健康を育むとともに、受講生同士の交流を促進し、仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。	0歳児～3歳児までの未就園児とその保護者	8～3月	8回	【実施日】 令和4年8月30日 令和5年3月8日 【受講決定者数】 合計 15人 うち子ども 11人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称（企業・学校含む）】	【今年度の課題】 広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持確保をしたほか、コロナ禍でも講座運営を安全に実施するため、定員数を縮小するとともに十分な消毒・換気を行った。受講者が講座に参加することで横の繋がりを作れるよう企画内容を工夫した。	【次年度の方向性】 参加者数の維持確保に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行い、参加者のニーズに沿った内容で企画・運営し、継続して開催する。
	青少年対象	少年大空教室	日常生活では経験できない多様な学習・体験を通じ、自主性や好奇心、考える力を養うとともに、他者との交流を通じて協調性や社会性の育成を図る。また、講座をとおして、参加者に篠井地区の魅力発信する。	篠井小学校の児童とその保護者および市内在住の小学生とその保護者	11～1月	2回	【実施日】 令和4年11月20日 令和5年1月15日 【受講決定者数】 合計 10人 うち子ども 4人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 篠井地区青少年育成会	【今年度の課題】 広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持確保をしたほか、コロナ禍でも講座運営を安全に実施するため、十分な消毒・換気を行った。少子化に伴う子ども会の減少で、篠井地区青少年育成会活動の継続が懸念されることから、生涯学習センターとして独自の講座・事業を模索し参加者を確保することが必要。	【次年度の方向性】 参加者数を確保するため、引き続き、市全体に呼びかけを行い、参加者のニーズに沿った内容で企画・運営するし、継続して開催する。
	地域と学校が連携した教育活動の充実	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・ボランティア組織が奉仕活動の一環として、小学校の資料室の清掃や校庭の落ち葉掃きなど、小学校児童と一緒に活動している。 ・生涯学習講座を通して、地域の老人クラブと小学校児童が世代間交流を図っている。	【今年度の実施状況】 生涯学習講座を通して、高齢者と小学生の世代間交流支援を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、小学校の奉仕活動に協力していく。また、生涯学習講座についても、地域の老人クラブと小学校児童が世代間交流を図っていく。
③ 地域理解の促進	◎地域力アップ教室	地域をより一層成長させるために地域を確認し、地区内にある資源・文化伝統等を新発見し、地域ビジョンの実現へと繋げる。	地域住民	6～11月	5回	【実施日】 令和4年6月16日 令和4年11月12日 【受講決定者数】 合計 17人 うち子ども 15人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称（企業・学校含む）】	【今年度の課題】 地区内のほか、広報紙への掲載や地区外チラシの配布により、参加者の確保に努めた。また、スマホ基礎講座についても抱き合わせて実施した。今後も継続して開催できるよう、関係団体とも連携して参加者を確保し、内容を精査しながら実施していくことが必要である。	【次年度の方向性】 参加者数を確保するため、引き続き、市全体に呼びかけを行い、参加者のニーズに沿った内容で企画・運営するし、継続して開催する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区 実施委員数 20人 実施委員会 実施回数 1回 各地域の取り組み 新型コロナウイルス対策を図るため、地域交流事業を見直したことに伴い、「成人のつどい応援制度」の協力を地域団体のみに依頼した。	【今年度の実施状況】 式典の実施時間の短縮を図るため、式典において実施していた「恩師お祝いのことば」及び「お礼のことば」を地域交流事業で実施した。 ※晃陽中学校区は、今年度は富屋生涯学習センターが担当した。	【次年度の方向性】 感染症対策の観点から、成人のつどい終了後も会場に長く滞在する人の退場を促す。継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。 ※晃陽中学校区は、今年度は富屋生涯学習センターが担当した。	

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針							
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績				評価		今後の方針
③ 地域なげ理る解を組進の充実	学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実												
	篠井生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数		特色			【今年度の実施状況】 秋まつりと共催し、絵画、工芸等の作品展、マーチング、コーラス等のアトラクション、射的などの体験コーナーを実施した。 コロナ禍において、秋まつり・文化祭が安全に開催できるよう、規模縮小（地域住民のみ）とするほか、飲食を伴う出店をしないなど、感染症対策を徹底する必要がある。また、作品展についても、展示会場が来場者で密にならないように設営を一方通行にするなど、設営方法を工夫する必要がある。	【次年度の方向性】 規模縮小の開催から、地域住民および一般市民を対象とした通常開催とする。作品展やホール部門について、生涯学習サークルおよび地域団体のほか、地域住民からの参加を募り、地域全体で文化祭を盛り上げていく。
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）							
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。
					0	0	0	0	0	0	1		

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	2	講座	10	回	112	人
子育て世代対象事業	1	講座	6	回	15	人
青少年対象事業	1	講座	2	回	10	人
計	4	講座	18	回	137	人

令和4年度 姿川生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>当地区では、姿川地区将来ビジョンに掲げた将来像を実現するため、地域と行政が協働して取り組んでいるところである。このため、まちづくりを身近に感じてもらう講座や地域の人が講師として活躍できる講座を開催し、地域まちづくりへの関心や参加意識を高め、学んだ成果を地域に還元できる機会を提供するとともに、地域の学習拠点として内容の充実を図ることにより、地域力の向上を図っていく。</p> <p>また、当センターが保健福祉における南部地域の拠点であることから、まちづくり支援グループと保健福祉グループとで連携して、健康づくりや子育てに関する講座など特色ある事業を展開していく。</p>	
<p>(ア) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者がいつまでも明るく安心して生活するためには、健康で充実した生活と地域社会との関わりが必要であることから、健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等を内容とする事業を推進する。 <p>(イ) 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子の絆を深めながら子どもの健全育成に繋げるため、親と子どもが触れ合う機会を提供していく。 地域団体や企業等と連携し、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成するとともに、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げるための学習活動を推進する。 保健福祉の拠点という当センターの特性を活かした講座を開催するなど、子育て世代の親子を対象に、より充実した子育てにつながる学習やふれあいの場を提供していく。 <p>(ウ) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域団体と連携しながら、地域の文化・歴史に係る学習等の機会を提供し、地域に対する理解や愛着を育むとともに、学んだ成果を地域に生かせる機会の提供につながる情報を充実させていく。 	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針			
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象								
	シニア倶楽部	健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等を実践し、家庭内でも手軽に実践することにより、シニア世代が健康で充実した毎日を過ごすためのきっかけづくりを目的とする。	姿川地区在住の60歳以上の方	7～1月	6回	【実施日】 令和4年7月14日 令和5年1月12日 【受講決定者数】 合計 30人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 姿川地区健康づくり推進員会	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ストレッチや音楽鑑賞などの講座を実施した。応募者が多数あったため、講座の回数、時期、時間、定員等について見直しなどの検討が必要である。	【次年度の方向性】 シニア世代の健康づくりや生きがいに繋げていく学習機会を提供するため継続して開催する。	
	男の料理教室	男性が日常的に手軽に取り組むことができ、健康増進に繋がる料理講習を実施し、家庭生活での充実を図る。	姿川地区在住男性	7～9月	1回	【実施日】 令和4年7月6日 令和4年7月6日 【受講決定者数】 合計 9人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 姿川地区食生活改善推進員協議会	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、講座の延期・中止等を判断するとともに、中止とした回の対応として、料理レシピを作成し、受講者へ送付するなどの対応を行った。	【次年度の方向性】 幅広くどなたでも参加できる「ヘルシー料理教室」として、健康増進につながる調理実習の機会を提供し、充実した家庭生活に繋げていくため、開催する。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	6・8月	2回	【実施日】 令和4年6月23日 令和4年8月4日 【受講決定者数】 合計 40人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 ソフトバンク	【今年度の実施状況】 複数の講師(アドバイザー)の、充実したサポート体制により、参加者が基本操作を学ぶことができた。定員20名開催で2回募集したところ、それぞれ倍以上の応募があったため、開催回数を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 市民ニーズや講座を主導しているみんなでまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。	
	学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供している。	【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 継続して、センター内に設置している掲示板での学習情報の提供等を行っていく。
	② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象							
		◎親子ふれあい広場	親子のスキンシップを通して、健やかな親子関係を育むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークの促進を図る。	乳幼児とその保護者	6～2月	8回	【実施日】 令和4年6月3日 令和5年2月20日 【受講決定者数】 合計 138人 うち子ども 68人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の感染状況から、募集定員の縮小など柔軟に対応し開催しているが、年度当初に比べ倍盤に開催した回は定員を超える申し込みがあった。	【次年度の方向性】 健やかな親子関係を育むとともに、参加者同士の子育てネットワークが期待でき、申込者数も多い講座であるため継続して実施する。
		青少年対象							
		ふるさと教室	地域団体や企業等と連携しながら、地域内の自然環境・歴史文化や工作など幅広いジャンルの学習の機会を提供することにより、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成し、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げる。	姿川地区内在住の小学4年生	中止	中止	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日 【受講決定者数】 合計 人 うち子ども 人 主な世代 人 【連携実績】 連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止	【次年度の方向性】 対象年齢(学年)や実施回数を検討して継続して開催する。
	親子エンジョイ講座	親子で触れ合いながら楽しく体験することにより、家庭教育や子育て・子育ての充実につながる。	姿川地区内在住の小学1～3年生とその保護者	中止	中止	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日 【受講決定者数】 合計 人 うち子ども 人 主な世代 人 【連携実績】 連携実績数 回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止	【次年度の方向性】 対象年齢(学年)や実施回数を検討して継続して開催する。	
地域と学校が連携した教育活動の充実	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 2中学校、3小学校の魅力ある学校づくり地域協議会に委員として出席	【今年度の実施状況】 各小中学校の地域協議会に出席し、情報提供等を行った。	【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。	

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績				評価	今後の方針
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進											
	姿川歴史教室	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぼ」を活用し、「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	姿川地区在住の成人	中止	中止	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日 【受講決定者数】 合計 人 うち子ども 人 主な世代 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回				【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の影響で中止	【次年度の方向性】 内容については、地域の歴史と文化の会と協議の上決定し、継続して開催する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。	【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。	
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実												
	姿川地区文化祭	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般市民及び姿川生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 11月を文化月間ととらえ、感染防止対策を講じて実施可能な催事内容を開催日を分散して実施することにより、分散型の文化祭として開催した。	【次年度の方向性】 来場者が安心して参加できるよう、新型コロナウイルス感染状況に応じた防止対策を講じながら、アフターコロナにも対応した開催を目指す。		
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）				【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援する。また、登録団体の学習活動などを積極的に周知することで、活動の質や学習意欲の向上を図る。	
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ
						0	0	0	0	0	0	58

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	4	講座	9	回	79	人
子育て世代対象事業	1	講座	8	回	138	人
青少年対象事業	2	講座	0	回	0	人
計	7	講座	17	回	217	人

令和4年度 雀宮生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>地域の生涯学習の拠点として、幅広い世代を対象に「学び」の機会を提供し、学んだ成果が地域に還元され、地域活動が活発に展開されるよう、以下の考え方にに基づき、「人づくり」と「地域づくり」の観点から生涯学習を推進する。</p> <p>(ア) ものづくりや体験活動を通して、仲間との連帯感や責任感を養い、リーダーシップを醸成し、次代を築く「青少年の健全育成」を図る。 (イ) 子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を促し、「家庭教育支援」を図る。 (ウ) 心身ともに健康で充実した高齢期を過ごせるよう、健康づくりや趣味・教養の習得を支援し、「高齢者の生きがいづくり」の促進を図る。 (エ) 雀宮の文化や歴史など、地域の資源や魅力を再認識し、地域への理解や愛着を深め、「地域コミュニティの強化」を図る。</p>	

★：令和4年度新規事業、 ◎：令和4年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分		事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針			
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象									
	さわやか倶楽部【Vスタッフ】	豊かな経験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や興味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。	雀宮地区内の60歳以上の方	5～11月	6回	【実施日】 令和4年5月31日～ 令和4年11月1日		【今年度の実施状況】 受講者の募集人数を昨年同様半分にし、密にならないような席の配置や休憩時の室内換気に注意し講座を行った。	【次年度の方向性】 参加者の満足度も高く、引き続き興味をもてる講座を企画し継続して開催する。	
	ライフアップセミナー	社会全体のデジタル化、進展するグローバル化に興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通し新たな学びを促す機会を図る。	雀宮地区内の一般成人	1月	1回	【実施日】 令和5年1月28日～ 令和5年1月28日		【今年度の実施状況】 地域社会のデジタル化に伴い、社会に必要なとされているスマートフォンの講座を実施した。	【次年度の方向性】 参加希望者も多いため、講座を継続して開催する。	
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。	雀宮地区内在住者	11月	1回	【実施日】 令和4年11月20日～ 令和4年11月20日		【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、従来に近い形で集団による史跡めぐりを実施した。	【次年度の方向性】 参加希望者も多く、学習目標を達成しているため、講座を継続して開催する。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。		5・7月	2回	【実施日】 令和4年5月16日～ 令和4年7月25日		【今年度の実施状況】 参加者が、初心者からある程度知識がある方まで混在していたことから、もっと細かくレベル分けをした内容も検討する必要がある。	【次年度の方向性】 人気があり、需要はあるため、講座を継続して開催する。	
	学習情報の発信									
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、各生涯学習センター講座のチラシやポスターを収集するとともに、その情報を市民に提供している。		【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 市民の生涯学習意欲の向上のため、今後も継続して、生涯学習センターの講座やイベントなどのチラシやポスターなどの学習情報の周知を図っていく。	
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象									
	ちゅんちゅん親子ふれあい広場(親子ふれあい編)	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。	未就学児とその保護者	7～12月	5回	【実施日】 令和4年7月14日～ 令和4年12月8日		【今年度の実施状況】 クリスマス会やお月見等の季節の行事を取り入れるなど、親子が楽しめる内容で実施した。参加する子どもたちの年齢に合った工作など、工夫した講座にする必要がある。	【次年度の方向性】 親子のスキンシップと親同士の交流のため、講座を継続して開催する。	
	ちゅんちゅん親子ふれあい広場(リフレッシュ編)	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけるほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。	未就学児とその保護者	9月	2回	【実施日】 令和4年9月9日～ 令和4年9月16日		【今年度の実施状況】 講師と複数回やり取りを行い細かな計画をして、安心して講座が受けられるようにした。	【次年度の方向性】 学習目標や参加者が同一であることから、「親子ふれあい編」に統合し、効果的な講座開催とする。	
	青少年対象									
	青少年セミナー	自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮地区内の小学生(4～6年生)	7～8月	4回	【実施日】 令和4年7月23日～ 令和4年8月22日		【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的にバスを利用した館外学習の企画は立てられなかった。来年度は状況を十分に判断しながら館外学習にも取り組む。	【次年度の方向性】 参加希望者も多く、学習目標を達成していることから、講座を継続して開催する。	

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針
進② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ちゅんちゅん親子チャレンジ	親子で協力して取り組む体験の機会を提供することにより、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	雀宮地区内の小学生（1～3年生）とその保護者	8月	1回	【実施日】 令和4年8月6日 ～ 令和4年8月6日			【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的にバスを利用した館外学習の企画は立てられなかった。来年度は状況を十分に判断しながら館外学習にも取り組む。		【次年度の方向性】 多数の方に参加していただくとともに、さらに、親子で協力しながら楽しめる講座の内容を検討していく。	
	地域わくわく子ども塾	雀宮地区の特性を生かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくりや体験学習を通して、知識・技術を習得することで、自立心の向上やリーダーシップの精神を育む。また、世代間の連帯感や郷土愛の精神を深め、地域づくりの礎を築いていく。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7～8月	2回	【実施日】 令和4年7月29日 ～ 令和4年8月20日			【今年度の実施状況】 連携する宇都宮工業高等学校や自衛隊と連絡調整しながら、開催時期を見直し、早期に日程を決定することができた。また、陸上自衛隊の講座においては、例年秋休み期間に実施していたが、夏休み期間に開催することで、より多くの方に受講してもらうことができた。		【次年度の方向性】 例年参加希望の方が多くキャンセル待ちとなる講座もあり、ものづくりや体験学習を通して、科学・知識・技術への関心を高められているため、講座を継続して開催する。	
地域と学校が連携した教育活動の充実												
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 1中学校、3小学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力支援 雀宮中央小学校の雀央サミット及び雀央フェスタに地域協議会委員として参加するなど、子どもたちとの交流も図った。			【今年度の実施状況】 地域協議会会議に出席し、情報交換を行った。		【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として協力支援を行っていく。	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	I LOVE 雀宮講座【CKP】	自分の住む地域の魅力や課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。	雀宮地区内の成人	3月	2回	【実施日】 令和5年2月8日 ～ 令和5年2月8日			【今年度の実施状況】 開催時間や定員を減らすなど、感染対策を徹底して実施した。		【次年度の方向性】 雀宮地区の歴史・史跡等を多くの方々知ってもらうため、雀宮地区まちづくり推進協議会と連携しながら、継続していく。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。		【次年度の方向性】 ・新型コロナウイルスからの回復を視野に入れ、準備を進めていく。 ・実施委員からの意見を伺いながら、有意義な協賛金使途を検討していく。 ・継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実												
	雀宮地域文化祭・収穫祭	「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地区内一般市民と雀宮生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスが収束せず、会場内での調理、飲食を不可としたため、従来ほどの参加者はなかった。		【次年度の方向性】 新型コロナウイルスの発生状況をみながら、できるかぎり従来のような飲食を伴った文化祭を目指していく。	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。		【次年度の方向性】 ・学習相談における相談を受けた際には、関係機関・団体等と連携を図り、対応していく。また、相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。	
令和4年度講座実績数内訳												
区分		事業数			受講決定者数							
		講座数	実施回数									
成人対象事業	5	講座	12	回	205	人						
子育て世代対象事業	2	講座	7	回	64	人						
青少年対象事業	3	講座	7	回	89	人						
計	10	講座	26	回	358	人						

令和4年度 上河内生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>上河内地域における資源や特性、住民ニーズなどを踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスを配慮しながら、多様な事業を推進する。事業の実施にあたっては、関係部局や関係機関団体と連携を図り、とりわけ地域の課題解決や活性化につながる事業については地域まちづくり推進団体とともに取り組んでいく。</p> <p>(ア) 住民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる趣味・教養的な講座を地域課題や生活課題を十分に盛り込みながら継続していく。 (イ) 「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。 (ウ) 地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の発掘や育成に取り組んでいく。 (エ) ICT社会の到来に伴い、地域住民誰もがスマートフォンを敬遠せず身近に感じ、有用な生活情報を入手し快適な暮らしを送るとともに、災害情報などを入手し安全安心な暮らしが送れるよう情報リテラシーの向上を図る講座を実施する。</p>	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象							
	★◎梵天の湯で行う「孫が伝授！スマホ学び塾」	地域住民の情報リテラシーの向上を図るため、スマートフォンが身近に感じる内容を含めるなど幅広い世代の地域住民が参加できる内容とする。	市内在住・在勤の成人	中止	中止	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日 【受講決定者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症により中止	【次年度の方向性】 高齢者の参加が中心となることが想定されるため、今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、安全に事業が実施できるよう、会場や日程の変更等についても、柔軟に対応していく。
	ライフアップセミナー in かみかわち	健康、生活、歴史、文化、国際交流の5つの分野を柱に、専門性を高めつつ、地域住民のニーズや時宜を反映した内容とする。	市内在住・在勤の成人	6～1月	5回	【実施日】 令和 4 年 6 月 15 日 令和 5 年 1 月 18 日 【受講決定者数】 合計 29 人 うち子ども 0 人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 0 回	【今年度の実施状況】 相続や体操、生き物などの教養を学ぶ講座を実施した。受講生が減少傾向にあることから、講座の周知手法を検討するほか、次年度の講座内容については、ライフアップセミナー運営委員と協議・検討し、受講生の関心を得られる内容となるよう組み立てていく必要がある。	【次年度の方向性】 地域の参加者やライフアップ運営委員から強い継続の希望があり、地域の学びに大きく寄与する講座であることから、継続して開催とする。
	★【CKP】ゆず染め講座	地域の特産品「ゆず」を通して、地域ブランドの向上や郷土愛の醸成を図るとともに、まちづくりの担い手の確保につながる内容とする。	市内在住・在勤の成人	7～2月	2回	【実施日】 令和 4 年 7 月 27 日 令和 4 年 7 月 29 日 【受講決定者数】 合計 12 人 うち子ども 0 人 主な世代 60代 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 回 上河内地区まちづくり協議会	【今年度の実施状況】 地域の特産品である「ゆず」を使用したゆず染めに関する講座を実施した。市外も含め定員枠を超えた多数の応募があったことから、まちづくり協議会と協議し、年に数回、定期的に講座を開催できるよう検討する必要がある。	【次年度の方向性】 上河内地区の「ゆず染め」を、地域文化として普及啓発を図るため、まちづくり協議会と連携し、継続してゆず染め講座を実施する。
	ヨガで女性の心身ケア講座	上河内地区まちづくり協議会との共催で、ゆずのアロマを活用したヨガ講座を実施し、ヨガを通して女性の心身のケアを学ぶ。	18歳以上の女性の方	12月	1回	【実施日】 令和 4 年 12 月 10 日 令和 4 年 12 月 10 日 【受講決定者数】 合計 12 人 うち子ども 0 人 主な世代 40代・50代 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 回 上河内地区まちづくり協議会	【今年度の実施状況】 基本的なヨガの内容で講座を実施したが、参加者のレベルを考慮し、高齢者でも参加しやすい内容と、ある程度体の動かせる方を対象とした内容で、レベルを分けて実施する必要性を感じた。	【次年度の方向性】 上河内地区の「ゆず」を、地域文化として普及啓発を図るため、まちづくり協議会と連携し、引き続きゆずを使った講座を実施する。
	学習情報の発信							
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供している。	【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 継続して、センター内に設置している掲示板での学習情報の提供等を行っていく。
進② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象							
	子育て講座	学びの場だけでなく、地区内の保育園等子育て関連施設と連携し、子育て中の親に情報交換の場を提供できる内容とする。また、上河内地区子育て支援会議と連携した内容を盛り込む。	市内在住の未就学児とその保護者	6月	3回	【実施日】 令和 4 年 6 月 16 日 令和 4 年 6 月 30 日 【受講決定者数】 合計 36 人 うち子ども 18 人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 回 上河内地区子育て支援会議	【今年度の課題】 コロナの影響で家にこもりがちな親子がリフレッシュできる内容として、親子で実施するヨガや、親子で楽しめるアトラクション講座を実施した。講座の受講が他の親子とのふれあいや気分転換になったとの声もあったことから、親子がリフレッシュできる内容や、保護者の心身のケアにつながる内容も引き続き検討していく。	【次年度の方向性】 子育て世代のニーズにあった講座内容であり、受講者アンケートから好評だったことから継続して開催する。
	青少年対象							
	ゆずのモイストボブリングミ講座	小学生とその保護者を対象に、上河内地区特産の「ゆず」の魅力を広く発信するほか、ゆずを丸ごと使い切ることで、SDGsの意識啓発を図る。	市内在住の小学生とその保護者	12月	3回	【実施日】 令和 4 年 12 月 17 日 令和 4 年 12 月 18 日 【受講決定者数】 合計 20 人 うち子ども 20 人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 回 上河内地区まちづくり協議会	【今年度の課題】 地域の特産品である「ゆず」を使用した講座を実施した。時間短縮のため、事前に材料の計量を済ませて講座を実施したが、講座の一環として、材料の計量等も小学生に体験してもらおうほうが良いとの意見があった。	【次年度の方向性】 上河内地区の「ゆず」を、地域文化として普及啓発を図るため、まちづくり協議会と連携し、ゆずを使った講座を継続して開催する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 「伝え合おう！ 私たちの思い！」と題した地域未来会議に出席し、中学生等と意見交換を行った。	【今年度の実施状況】 地域未来会議に出席し、意見交換を行った。	【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針								
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績				評価	今後の方針		
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進													
	二十歳を祝う成人のつと	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに よる、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを 持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から 学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会 実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。	【次年度の方向性】 継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。			
						上河内	20人	2回	ゆず活用のイラスト入りのクリアファイルの配布					
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実														
	上河内地域文化祭	地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方々が行った学習成果をステージ発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 コロナ禍の中、感染防止対策を講じ実施した。参加者は例年よりも少なかったが、ゆず染め体験など新しいコーナーも設け、参加者たちには好評であった。	【次年度の方向性】 ・今年度同様、地域の特色のある催しとするよう、地域と協議する。 ・幅広い世代からの参加が得られるよう、多岐にわたる内容とするなど検討する。				
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳（：件）				【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援する。また、登録団体の学習活動などを積極的に周知することで、活動の質や学習意欲の向上を図る。			
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						0	0	0	0	0	0	1		

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数				受講決定者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	4	講座	7	回	53	人
子育て世代対象事業	1	講座	3	回	36	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	20	人
計	6	講座	13	回	109	人

令和4年度 河内生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに社会環境が急激に変化する中において、社会の要請に対応する事業や人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上に資する事業に取り組んでいく。</p> <p>(ア) 地域の魅力を発見できる事業の充実を図る。 (イ) 地域の人材等を活用した講座を実施するとともに地域で活躍できる人材の育成に努める。 (ウ) 仲間づくりや交流の場を提供し、人と人との絆づくりを推進する。 (エ) 人間力の向上や家庭教育力の向上に資する事業を積極的に展開する。</p>	

★：令和4年度新規事業、◎：令和4年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業区分	事業の概要					令和4年度事業実績・評価・今後の方針		
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	成人対象								
	かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い生き甲斐のある豊かな人生を過ごす力を身につける「仲間づくり」と地域活動等に関心をもち、活動の場を提供し、人と人との絆づくりを推進する。※館外学習あり	市内在住・在勤している成人の方	7～11月	2回	【実施日】 令和4年7月14日 ～ 令和4年9月16日 【受講決定者数】 合計 27人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 長寿社会や落語など、参加者の生きがいにつながる内容の講座を実施した。コロナ対策を実施しながら、参加者数の増加を図る必要がある。	【次年度の方向性】 リピーターも多く、受講生の生きがいとなっている講座であるため継続して開催する。	
	◎美と健康きらめき講座	健康・生活・言葉・マナーなど様々な分野で、素敵に輝くための知識・教養を体験を交えて習得すると共に、幅広い世代の交流を深めるきっかけ作りを推進する。※託児あり	市内在住・在勤している成人の方	6～9月	2回	【実施日】 令和4年6月23日 ～ 令和4年8月18日 【受講決定者数】 合計 27人 うち子ども 0人 主な世代 70代～ 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 美と健康きらめき講座は、若年層の子育て世代の女性が子どもを託児に預け、素敵に輝くための知識・教養を体験してもらった講座として企画したが、参加できる性別や年齢、講座を見直したことで、成人対象事業「かがやくセミナー」と同様に高齢者中心の講座となった。	【次年度の方向性】 かがやくセミナーの講座として統合することで、より講座内容の充実を図る。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	6・8月	2回	【実施日】 令和4年6月8日 ～ 令和4年8月5日 【受講決定者数】 合計 21人 うち子ども 0人 主な世代 不明 【連携実績】 連携実績数 2回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 ソフトバンク	【今年度の実施状況】 参加者が多いことから、需要がある講座と考える。しかし、講座では、OS iPhoneを利用した講座であり、参加者のほとんどがOSがアンドロイドのため、違和感があったと思われる。自分が所有しているスマートフォンを利用した講座内容を検討する必要がある。	【次年度の方向性】 市民ニーズや講座を主導しているみんなでもまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。	
学習情報の発信	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和4年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するため、センター内、学習事業者などのチラシやポスターを掲示。 ・生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供。	【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 継続して、生涯学習センター内に設置している掲示板でのチラシやポスターなどの学習情報の提供等を行っていく。	
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	子育て世代対象								
	◎子育て広場	子育ての学習を通して親子のふれあいを深め、情報交換の場を提供し、「仲間づくり」・「ネットワークづくり」を推進するとともに、新たに両親が参加できる仕組みを取り入れる。※相談タイムあり	市内在住・在勤の乳幼児とその保護者	6～8月	2回	【実施日】 令和4年7月26日 ～ 令和4年8月30日 【受講決定者数】 合計 23人 うち子ども 14人 主な世代 30代 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 リトミックなど、親子がふれあう内容を実施した。両親が参加できるような仕組みづくりを取り入れる必要がある。	【次年度の方向性】 若年層の子育て世代の仲間づくりや交流の場を提供するため継続して開催する。	
	青少年対象								
	オモシロ夏休み	子どもたちが「学ぶ楽しさ」を感じ、子どもたちの「自ら考える力」をはぐくむとともに、「仲間づくり」を推進する。	市内在住・在学の小・中・高4年生～6年生	7～8月	2回	【実施日】 令和4年7月28日 ～ 令和4年8月2日 【受講決定者数】 合計 9人 うち子ども 9人 主な世代 小学生 【連携実績】 連携実績数 0回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】	【今年度の実施状況】 ものづくり体験などの講座を実施した。募集定員が20人のところ、実際の参加者が9人であったことから、コロナ対策を実施しながら、参加者数の増加を図る必要がある。	【次年度の方向性】 子どもたちが仲間づくりの楽しさを学ぶとともに、学習意欲の向上を図るため継続して開催する。	
	地域と学校が連携した教育活動の充実	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和4年度活動事例 ・魅力ある学校づくり地域協議会主催の古里・田原未来塾への支援	【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行った。	【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、支援していく。	

重点項目	事業区分	事業の概要				令和4年度事業実績・評価・今後の方針						
		事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績				評価	今後の方針
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域理解の促進											
	◎いきいき河内発見講座	河内の地域資源を学ぶことによって地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	市内在住・在勤している成人の方	6～11月	2回	【実施日】 令和4年6月18日 ～ 令和4年11月19日				【今年度の実施状況】 地域出身の芸人を講師とした講座を実施した。今後は、コロナ感染症の拡大状況を踏まえながら、開催する必要がある。		【次年度の方向性】 地域と連携することで地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持ってもらうため継続して開催する。
						【受講決定者数】 合計 40人 うち子ども 0人 主な世代 70代～						
						【連携実績】 連携実績数 1回 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 河内地区まちづくり協議会						
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和4年度新成人	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 ・3中学校をセンター職員で対応することが困難な状況である。当日は、応援職員の協力を得ているが、スポット的なため、一から式典などの進め方などを改めて説明するなど依然として事務負担が大きい。また、他の中学校区とは違い、毎年実施委員が変わるのでノウハウの引継ぎがなく、よりよい運営を行うために今後の運営体制を見直す必要がある。 ・会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。		【次年度の方向性】 ・関係課と連携を図り、運営体制を見直していく。 ・継続して実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。
						古里	22人	1回	・記念品 ・記念写真 ・コロナ感染症防止対策 (受付時の受付方法、会場退室)			
						田原	15人	1回				
						河内	19人	1回				
学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実												
	河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色			【今年度の実施状況】 河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	【次年度の方向性】 引き続き、河内地域内の文化の祭典を支援していく。
						24団体	0人	河内地域内の芸術文化活動に係る人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、文化の祭典を実施することで地域の芸術の向上に取り組む。				
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和4年度実績 内訳(件)				【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。	
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ
						0	0	0	0	0	0	33

令和4年度講座実績数内訳

区分	事業数			受講決定者数
	講座数	実施回数		
成人対象事業	4	講座	8回	115人
子育て世代対象事業	1	講座	2回	23人
青少年対象事業	1	講座	2回	9人
計	6	講座	12回	147人